NEC

ユーザーズマニュアル

LaVie Light

853-810601-829-A
2009年6月　初版

付　録........89

このマニュアルの表記について

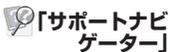
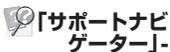
◆手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や参照情報などが記載されています。はじめてパソコンを扱うかたは、右側の説明もよく読んでください。

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります

注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。
チェック!!	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているソフトの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
参照	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
☹→☺	パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものを探してください。
メモ	参考になる事柄です。

◆このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

【 】	【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「サポートナビゲーター」	電子マニュアル「サポートナビゲーター」を起動して、各項目を参照することを示します。「サポートナビゲーター」は、「スタート」-「サポートナビゲーター(電子マニュアル)」をクリックして起動します。
「サポートナビゲーター」-「使いこなす」	「サポートナビゲーター」を起動して、ソフトの操作方法などを参照することを示します。

◆本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

◆このマニュアルで使用しているソフトウェア名などの正式名称

（本文中の表記）	（正式名称）
Windows、Windows XP、Windows XP Home Edition	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版Service Pack 3
Windows Media Player	Windows Media® Player 11
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2009

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定めるサービス対象地域から日本への引取修理サービスを行います。サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://121ware.com/ultracare/jpn/
(7)本機の内蔵SSDにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Home Edition、Microsoft® Windows® XP Professional、またはMicrosoft® Windows® XP Media Center Edition および本機に添付のCD-ROM、DVD-ROM は、本機のみでご使用ください。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

■輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
従いまして、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。（ただし、海外保証サービス［NEC UltraCare[SM] International Service］対象機種については、ご購入後一年間、日本への引取修理サービスを受けられます。）

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替及び外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。
必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*1 will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*1 does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare[SM] International Service can be provided with acceptance service of repair inside Japan for one year after the purchase date.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC Personal Products, Ltd.

PART

1

このパソコンについて

『セットアップマニュアル』を使ってセットアップが終わったら、いよいよ本格的にパソコンを使い始めます。

よく使うボタンなど

このパソコンの添付品の確認、接続、およびセットアップについては、『セットアップマニュアル』をご覧ください。
ここでは、このパソコンの電源スイッチなどについて紹介します。

バッテリ充電ランプ

バッテリの充電中は点灯します。
バッテリにエラーが発生したときは点滅します。
ACアダプタが接続されていないときや、充電が完了しているときは消灯しています。

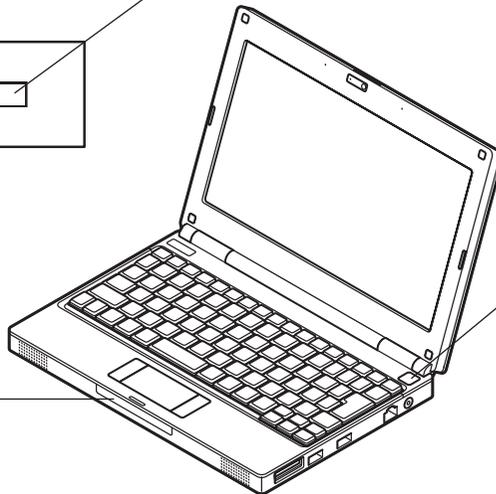
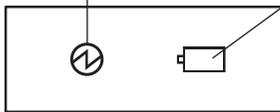
電源ランプ

電源が入っているときは点灯します。
スタンバイ状態のときは点滅します。
休止状態、または電源が切れているときは消灯しています。

電源スイッチ

パソコンの本体の電源を入れるとき、省電力状態から復帰するときに押します。

このほかに、【Fn】+【1】や【Fn】+【2】を押すだけでソフトが起動できる機能があります。このキーの組み合わせを「ワンタッチスタートボタン」と呼びます。ご購入時の設定では、次のキー操作にWebブラウザを閲覧するソフトと電子メールのソフトが割り当てられています。

- 【Fn】+【1】…はじめて【Fn】+【1】を押したときに選択した電子メールソフトが起動します。
- 【Fn】+【2】…Internet Explorerが起動します。

参照

パソコン各部の説明について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「各部の名称と役割 」

チェック!!

はじめて【Fn】+【1】を押したときには、登録できるメールソフト(「Outlook Express」、「Windows Liveメール」)を選択する画面が表示されます。お使いになるメールソフトを選択すると、【Fn】+【1】に割り当てられます。

お客様登録のお願い

121wareでは「お客様登録」することで、さまざまなメリットを提供しています。あなたのデジタルライフをグッとオトクに、そしてさらに便利でもっと身近に感じる121wareのサービスを是非ご利用ください。
※法人のお客様としてご使用の場合も、ご登録をおすすめします。

登録料・会費無料

登録するとメリットがたくさん

1　電話での「使い方相談」

使い方を何度でも無料で相談

保有商品を登録すると、購入後1年間※の使い方相談が何回でも無料で利用できます。

2　あなただけのマイページ

マイページは、あなた専用のページです

登録した商品を元に、あなたのパソコンに合ったサポートやサービスに関する情報が表示されます。

3　NEC Directの優待サービス＆ポイントもGet

NEC Directの優待サービスでお買い物。ポイントももらえる

保有商品を登録されているお客様は、NEC Directの優待サービスが受けられます。

その他の特典

買い取り

不要になったパソコンの買い取りサービスがWebからできます。

修理

Webで修理を申し込むと、修理料金が割引されます。

メールニュース

商品広告・活用提案・サポート・キャンペーンなどの情報をお届けします。

※ パソコン本体以外の商品／NEC Refreshed PC（再生パソコン）の「使い方相談」の無料期間は、各商品の保証書に記載の保証期間となります。

お客様登録の方法

お客様登録(お持ちのNEC製品も登録してください)をして、電話の問い合わせのときに必要な「121wareお客様登録番号」と、インターネットサポート・サービスをご利用になる際に必要な「ログインID」を取得してください。
ご登録いただくことでお客様に合ったサポート・サービスをご提供させていただきます。

インターネットによる登録をおすすめします。
「121wareお客様登録番号」と「ログインID」を同時に取得でき、すぐにインターネットサポートが受けられます。
まだインターネットをお使いになれないお客様にはFAX登録をご用意しております。ただし、FAX登録からでは「121wareお客様登録番号」のみの取得となり、インターネットでのさまざまなサービスがご利用いただけません。
インターネットが使えるようになり次第、「ログインID」の取得をおすすめします。

チェック!!
すでにお客様登録がお済みのお客様は、保有商品の追加登録をお願いいたします。「121ware.com」のマイページ(http://121ware.com/my/)内の「保有商品情報」で、ご購入いただいた商品を追加することができます。

インターネット登録(推奨)

インターネットに接続して、NECパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」のマイページ(http://121ware.com/my/)から登録します。詳しくは、『121wareガイドブック』をご覧ください。

チェック!!
登録の前に、インターネット接続の設定が必要です。

FAX登録

お手持ちのFAXから「0120-977-121」(フリーコール)に電話します。ご希望の窓口案内のアナウンスが流れますので、FAX情報サービス窓口番号である「9」を押します。
FAX情報サービスにつながりますので、アナウンスにしたがい、BOX番号3002と#を押し、お客様登録用紙を取り出してください。必要事項をご記入の上、FAXでお送りください。

チェック!!
FAX用紙はNECパソコン情報FAXサービスから取り出してください。
電話番号はよくお確かめになり、お間違えのないようにおかけください。

SDメモリーカードの扱い方

このパソコンで使えるSDメモリーカードの種類や取り扱い上の注意、SDメモリーカードのセットのしかたを説明します。

このパソコンでは「SDメモリーカード」、「SDHCメモリーカード」を使うことができます。「miniSDカード」、「microSDカード」も使用できます。ただし、市販のアダプタが必要になります。

SDメモリーカードの取り扱い上の注意

- Windows上でSDメモリーカードのフォーマットやディスクデフラグをおこなわないでください。
- SDメモリーカードにデータを保存中または読み込み中に周辺機器を接続しないでください。また、データの保存中はスタンバイ状態や休止状態にしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり誤動作の原因になります。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「SDメモリーカードスロット」をご覧ください。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。メモリーカードの説明書をよく読んでから使用してください。
- 大切なデータはパソコン内などにコピーして、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモリーカードを読み込めない場合は、メモリーカード内のファイルに対応するソフトがパソコンにあるかを確認してください。携帯電話の機種やダウンロードサービスの種類によっては、専用のソフトをパソコンにインストールする必要があります。
- 携帯電話からメモリーカードにダウンロードした音楽データなどは、エクスプローラなどからパソコンにコピーしても利用できないことがあります。携帯電話の機種によって異なりますので、詳しくは携帯電話の説明書をご覧ください。
- 誤った操作による故障やメディアの取り出しは有償となりますのでご注意ください。
- その他の注意事項については添付のマニュアル『安全にお使いいただくために』をご覧ください。

SDメモリーカードの取り付け方と取り外し方

●SDメモリーカードを取り付ける方法

1 SDメモリーカードの向きに注意して、SDメモリーカードスロットに奥までしっかり差し込む

表面を上にして差し込んでください。

●SDメモリーカードを取り外す方法

1 画面右下の通知領域にあるをクリックすると表示される「×××を安全に取り外します」で、取り外す機器名をクリック

「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら取り外してください。画面右下の通知領域にが表示されていないときは、をクリックしてください。

2 SDメモリーカードを軽く押す

SDメモリーカードが少し出てきます。

3 SDメモリーカードを水平に引き抜く

チェック!!

初めてご使用になるときは、SDメモリーカードスロットにダミーカードが取り付けられています。次の「SDメモリーカードを取り外す方法」をご覧になり、同様の手順でダミーカードを取り外してください。

チェック!!

- 「miniSDカード」、「microSDカード」を使う場合は、アダプタに差し込んでおいてください。アダプタの装着方法について詳しくは、SDメモリーカードまたはアダプタの説明書をご覧ください。
- SDメモリーカードには表面と裏面があり、スロットへ差し込む方向が決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、カードやスロットが破損することがあります。詳しくは、SDメモリーカードの説明書をご覧ください。
- メモリーカードやアダプタの形状、注意事項など、詳しくは「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンにつなげる」-「SDメモリーカードスロット」をご覧ください。

チェック!!

- SDメモリーカードスロットアクセスランプ点灯中は、SDメモリーカードスロットに差し込まれているSDメモリーカードを絶対に取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因になります。
- miniSDカード、microSDカードなどのアダプタを使用して差し込んでいる場合、スロット内にアダプタを残したままにしないようにご注意ください。

インターネットに接続するには

このパソコンでインターネットを利用するために必要な準備を説明します。

インターネットを楽しむための準備

このパソコンでインターネットを楽しむには、次の準備が必要です。
ご家庭で、現在インターネットを利用していない場合は、各回線業者、プロバイダに申し込みをしてください。

●インターネット回線

FTTH、ADSLなどのインターネット回線が必要です。
ご家庭にインターネット回線が無い場合は、回線業者との契約が必要です。

●プロバイダとの契約

プロバイダ(インターネット接続業者)との契約が必要です。
まだ契約をしておらず、特にプロバイダを決めていない場合、BIGLOBEに入会することをおすすめします。

チェック!!
このパソコンでは、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続することはできません。
現在、ダイヤルアップ接続でインターネットに接続している場合、契約の変更などが必要になります。

接続設定の進め方

インターネット接続の方法によって、接続、設定方法が異なります。

●ワイヤレスLANでインターネットに接続する場合

このPARTの「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続の準備」(p.14)をご覧ください。

●有線LANでインターネットに接続する場合

このPARTの「LANケーブルを利用したブロードバンド接続の準備」(p.23)をご覧ください。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続の準備

無線でインターネットに接続するための準備について説明します。

ワイヤレスLAN機能について

ワイヤレスLANとは、LANケーブルを無線（ワイヤレス）にしたものです。ワイヤレスLANを活用すれば、たくさんのケーブルが必要だったインターネット接続が変わります。

●家の中で

ブロードバンドを利用するときは、パソコンとネットワーク機器をLANケーブルで接続します。ワイヤレスLANを使うと、この部分のケーブル接続が不要になります。
ワイヤレスLANの規格や使用環境にもよりますが、ワイヤレスLANの電波は、建物の壁などもある程度越えて届きます。ワイヤレスLANを導入すれば、パソコンの設置場所や持ち運びがもっと自由になり、使い方が広がります。

●外出先で

最近は、「無線LANスポット」と呼ばれる公衆ワイヤレスLANサービスも増えてきました。これは、ワイヤレスLANを用いたネットワークをホテルや飲食店などに設置し、利用客に無料または有料で、インターネット接続環境を提供するものです。
外出先でも自分のノートパソコンを使ってインターネットに接続できるため、頻繁にパソコンを持ち歩くかたに便利なサービスです。

チェック!!
ワイヤレスLANは便利ですが、セキュリティの対策をしっかりしないと、外部からネットワークに入られて無断で利用され、情報を読まれてしまう危険があります。ワイヤレスLANを使うときは、暗号化など、セキュリティをしっかり設定してください。

ワイヤレスLANの種類

ワイヤレスLANには現在、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11a、およびDraft IEEE802.11nの4種類があり、組み合わせによっては接続できない場合もあるので注意が必要です。
このパソコンでは、IEEE802.11b、IEEE802.11gに対応しています。IEEE802.11a、およびDraft IEEE802.11nには対応していません。
ワイヤレスLANそれぞれの種類には、次のような特徴があります。

	規格上の理論値（通信速度）※	周波数	特　徴
IEEE802.11b	最大11Mbps	2.4GHz	対応機器が多く、互換性が高い規格
IEEE802.11g	最大54Mbps	2.4GHz	・IEEE802.11bよりも高速な通信が可能 ・IEEE802.11b対応機器との通信も可能
IEEE802.11a		5GHz	電波干渉の問題が少ない このパソコンでは対応していません。
Draft IEEE802.11n	最大300Mbps	2.4GHz/5GHz	・現在、もっとも高速な通信が可能 ・IEEE802.11b、IEEE802.11g対応機器との通信も可能 ・IEEE802.11a対応機器との通信も可能 このパソコンでは対応していません。

※ 各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記です。通信の実効速度はこの通信モードの50%以下になります。通信速度は、パソコンと相手機器との間の電波状態や距離によっても変化します。詳しくは、『セットアップマニュアル』の「仕様一覧」をご覧ください。

設定に必要なもの

ワイヤレスLANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。

●回線終端装置またはモデム

ブロードバンド回線の種類によって次のような機器が必要です。詳しくは、入会申し込みの時点でプロバイダにご確認ください。

- FTTH：回線終端装置（回線工事で設置）
- ADSL：ADSLモデム
- CATV：ケーブルモデム（CATV開通工事で設置）

チェック!!

お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。お使いの機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどで設定を確認してください。

●ワイヤレスLANアクセスポイントまたはワイヤレスLANルータ

お使いのブロードバンド回線の種類やモデムの種類によって次のような機器が必要です。

◆ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)

次のような場合、ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)が必要です。

・ルータ機能のあるモデムをお使いの場合
・ワイヤレスLAN機能のないルータ(有線)を使って、インターネットに接続している場合

◆ワイヤレスLANルータ(ルータタイプのワイヤレスLANアクセスポイント)

次のような場合、ワイヤレスLANルータ(ルータタイプのワイヤレスLANアクセスポイント)が必要です。

・ルータ機能のないモデムをお使いで、複数のパソコンでインターネットに接続するなどルータ機能が必要な場合

チェック!!

・ADSLの場合、ADSLモデムにワイヤレスLANアクセスポイント機能が内蔵されているものもあります。
・機器を購入するときは、このパソコンと通信できるかどうかを確認してください。
・機器を購入するときは、お使いのモデムや回線終端装置の種類を確認してください。
・ワイヤレスLANルータでルータ機能を無効にして、ワイヤレスLANアクセスポイント(ブリッジタイプ)として利用できる場合もあります。

設定中に出てくるワイヤレスLANの用語について

機器やメーカにより、記載されている用語が異なることがあります。次の説明を参考にしてください。

●ネットワーク名、SSID(Service Set IDentifier)

このマニュアルでは「ネットワーク名(SSID)」と記載しています。
ワイヤレスLANを構成するワイヤレスLANアクセスポイントと端末に付けられた識別子のことで、ワイヤレスLANをグループ化するために用いられます。ワイヤレスLANアクセスポイントと端末で同じSSIDが設定されていないと通信することはできません。ワイヤレスLAN接続ツールによっては、ESS-ID(Extended Service Set IDentifier)と記載している場合もあります。

●ステルス機能

ワイヤレスLANアクセスポイントのSSIDを隠す機能です。この機能が有効になっていると、パソコン側からワイヤレスLANアクセスポイントを検索することができません(ネットワーク名(SSID)を通知しない)。
セキュリティ機能はステルス機能を無効にする(ネットワーク名(SSID)を通知する)よりも高いのですが、ネットワークプロファイルを手動で設定する必要があります。

●セキュリティキー、WEP(Wired Equivalent Privacy)キー

このマニュアルでは「セキュリティキーまたはパスフレーズ」と記載しています。
データを暗号化する鍵のことです。暗号キーまたはネットワークキーと記載される場合もあります。ワイヤレスLAN通信時に、第三者からの盗聴を防ぐために使用します。
パスフレーズと記載している場合もあります。

ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続をする

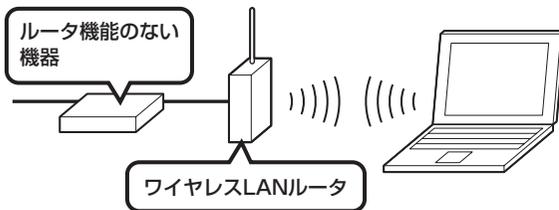
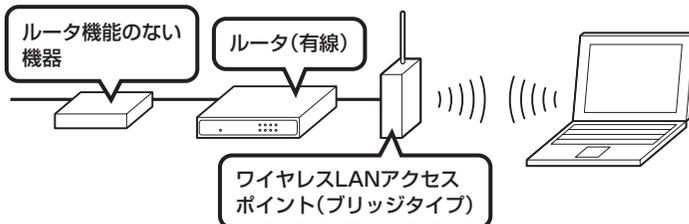
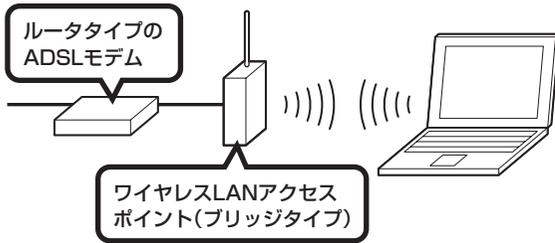
ワイヤレスLANの接続と設定をおこないます。

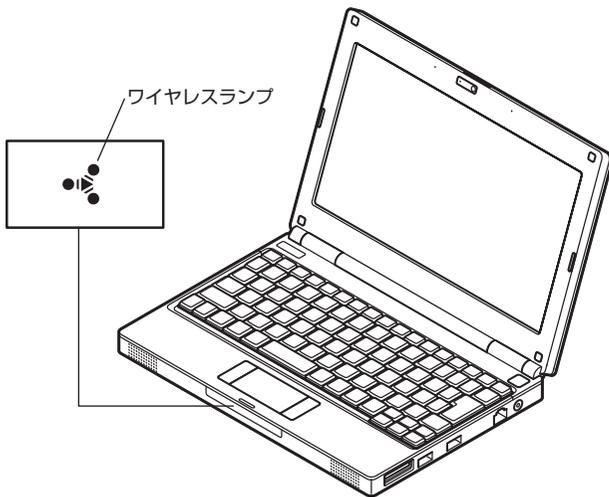
ワイヤレスLAN機能をオンにする

あらかじめ、「ワイヤレスLANを利用したブロードバンド接続の準備」(p.14)を読んで必要なものを準備してください。

1 **機器を接続する**

詳しい接続方法については、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどをご覧ください。
FTTHの回線終端装置やADSLモデムをお使いの場合、次のように接続します。

回線終端装置やルータ機能のないADSLモデムの場合

回線終端装置やルータ機能のないADSLモデムの場合(ルータ(有線)を利用する場合)

ルータ機能のあるADSLモデムの場合

2 **キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押す**

ワイヤレスLAN機能がオンになり、ワイヤレスランプが点灯します。

- ご購入時の状態では、ワイヤレスLAN機能はオフになっています。
- ワイヤレスLAN機能がオンのときは、ワイヤレスランプが点灯します。
- もう一度キーボードの【Fn】を押しながら【F2】を押すと、ワイヤレスLAN機能がオフになり、ワイヤレスランプが消灯します。

ワイヤレスLAN機能がオフになっていると接続できません。

接続する機器の設定について

ワイヤレスLANの接続では、接続するワイヤレスLANアクセスポイントがネットワーク名(SSID)を通知する設定になっているか、通知しない設定(ステルス機能が有効)になっているかでパソコンの設定が異なります。あらかじめお使いの機器のマニュアルをご覧になり、設定を確認しておいてください。

チェック!!

- ネットワーク名(SSID)は、通知しない設定にする方が、不正アクセスなどへのセキュリティが高まります。
- 手順中に出てくるネットワークキーやセキュリティの設定などについて、詳しい内容は「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「ワイヤレスLAN(無線LAN)」に説明があります。そちらも参照してください。
- 機器によっては、パソコンの設定をする前に、ユーザー名やパスワードなどの接続情報を設定する場合もあります。機器に添付されている説明書などの記載にしたがってください。

ワイヤレスLANの設定を表示する

1. 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリック
3. 「ネットワーク接続」をクリック
4. 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックして、「プロパティ」をクリック

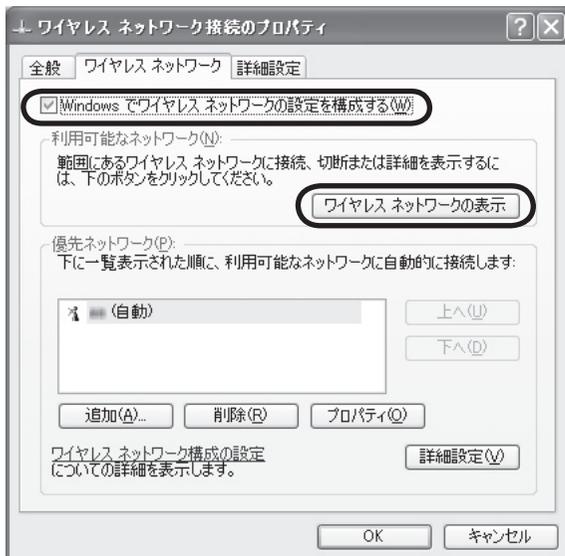
   「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」が表示されます。

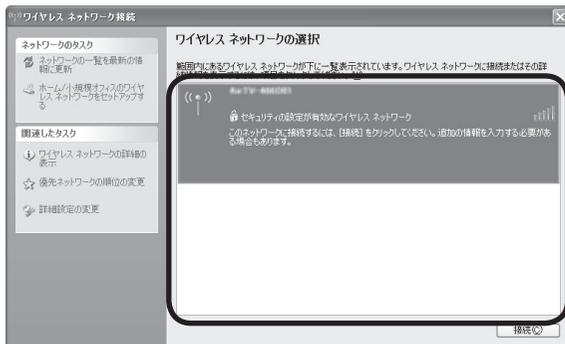
ここからの手順は、接続するワイヤレスLANアクセスポイントの設定によって異なります。

- ネットワーク名(SSID)を通知するワイヤレスLANアクセスポイント
  →次の「ネットワーク名(SSID)を通知するワイヤレスLANアクセスポイントに接続する」へ進んでください。
- ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイント
  →「ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイントに接続する」(p.21)へ進んでください。

ネットワーク名(SSID)を通知するワイヤレスLANアクセスポイントに接続する

1 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「ワイヤレスネットワーク」タブをクリック

2 「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」が☑になっていることを確認し、「ワイヤレスネットワークの表示」をクリック

「ワイヤレスネットワーク接続」が表示されます。

3 接続するアクセスポイントを選んでダブルクリック

接続するネットワーク名が表示されない場合は、画面左の「ネットワークの一覧を最新の情報に更新」をクリックしてください。

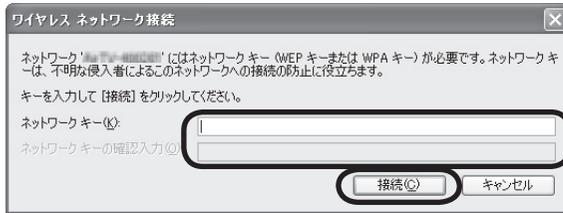
それでもネットワーク名が表示されない場合は、通知領域の[アイコン]を右クリックし、「修復」を選択してください。

チェック!!

ネットワーク名(SSID)が表示されない場合は、次の理由が考えられます。

- 電波の状態が悪い。
  電波が確実に届く範囲内に移動して作業してください。
- ワイヤレスLAN アクセスポイントが、ネットワーク名(SSID)を通知しない設定になっている。
  ワイヤレスLANアクセスポイントのマニュアルなどを見て、設定を確認してください。ネットワーク名(SSID)を通知しない場合の設定については、「ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイントに接続する」(p.21)をご覧ください。

4 **ネットワークキーを設定し、「接続」をクリック**

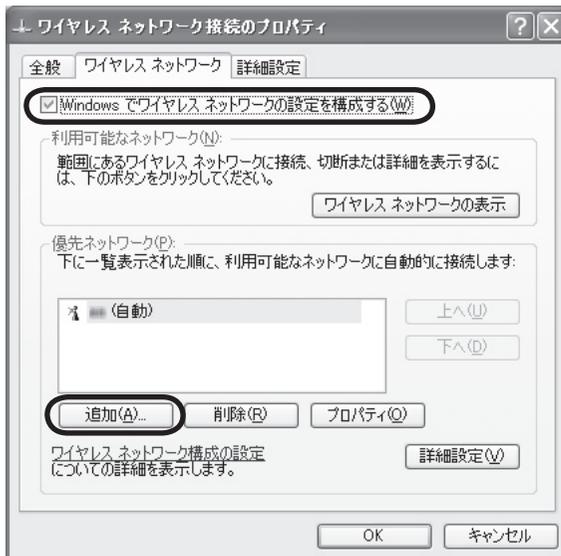
ネットワークキーは、通信をおこなうワイヤレスLANアクセスポイントのネットワークキーと同じに設定します。

デスクトップ画面右下の通知領域にが表示され、ワイヤレスLANが接続されます。

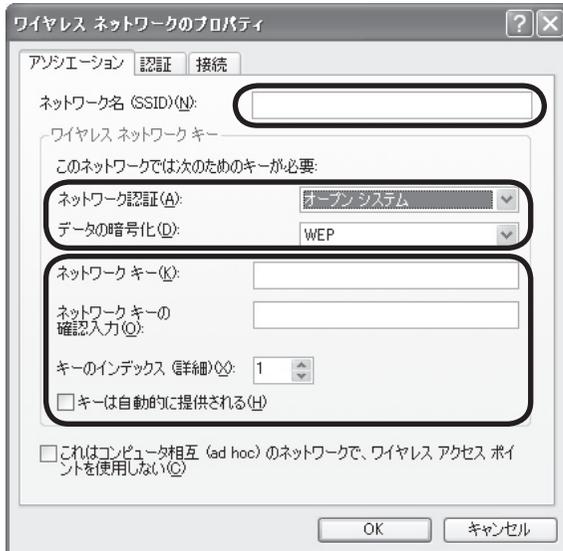
チェック!!

- 接続相手側機器がセキュリティ機能を無効にしているときは、警告のメッセージが表示されます。画面の内容を確認して操作してください。
- 画面右下に、が表示されている場合、またはが表示され続ける場合は、ネットワークキー(暗号キー、WEPキー、セキュリティキー、パスフレーズとも呼ばれます)が正しいか確認してください。

ネットワーク名(SSID)を通知しないワイヤレスLANアクセスポイントに接続する

1 **「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」の「ワイヤレスネットワーク」タブをクリック**

2 **「Windowsでワイヤレスネットワークの設定を構成する」がにになっていることを確認し、「追加」をクリック**

3 **ネットワーク名とワイヤレスネットワークキーの設定をおこなう**

「ネットワーク名(SSID)」、「ワイヤレスネットワークキー」は、接続するワイヤレスLANアクセスポイントと同じに設定してください。

4 **「OK」をクリック**

「ワイヤレスネットワークのプロパティ」画面が閉じます。

5 **「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面の「OK」をクリック**

デスクトップ画面右下の通知領域にが表示され、ワイヤレスLANが接続されます。

チェック!!

接続相手側機器がセキュリティ機能を無効にしている場合は、「データの暗号化」を「無効」にしてください。ネットワークキーを入力する必要はありません。

チェック!!

画面右下に、が表示されている場合、またはが表示され続ける場合は、ネットワークキー（暗号キー、WEPキー、セキュリティキー、パスフレーズとも呼ばれます）が正しいか確認してください。

設定が完了したら

ワイヤレスLANルータ、ルータタイプのモデム、ルータ(有線)などを使用している場合は、接続情報を設定、登録してください。詳しくは、機器に添付されている説明書、プロバイダから入手した説明書、メーカやプロバイダのホームページなどをご覧ください。
その後、「ルータを利用したブロードバンド接続の設定」(p.25)の手順2以降をおこなってください。すべての設定が終わったら、「インターネットに接続する」(p.30)へ進み、インターネットへの接続を試してください。

チェック!!

接続情報を設定、登録しないと、このパソコンでの設定が終わってもインターネットに接続できません。

LANケーブルを利用したブロードバンド接続の準備

LANケーブルでインターネットに接続するための準備について説明します。

設定に必要なもの

LANの設定には、次のものが必要です。

●回線事業者やプロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、ユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、回線事業者から入手した接続設定用マニュアルなどがある場合、そのマニュアルにしたがって設定をおこなってください。

●LANケーブル

回線終端装置などに添付されていなければ、LAN(ラン)ケーブルをお買い求めください。LANケーブルには「ストレートケーブル」と「クロスケーブル」の2種類があります。パソコンと回線終端装置などのインターネット接続機器をつなぐときは、ストレートケーブルを使用してください。

●インターネット接続機器

ブロードバンド回線の種類によって次のような機器が必要です。詳しくは、入会申し込みの時点でプロバイダにご確認ください。

・ FTTH:回線終端装置(回線工事で設置)
・ ADSL:ADSLモデム
・ CATV:ケーブルモデム(CATV開通工事で設置)

●ルータを使う場合

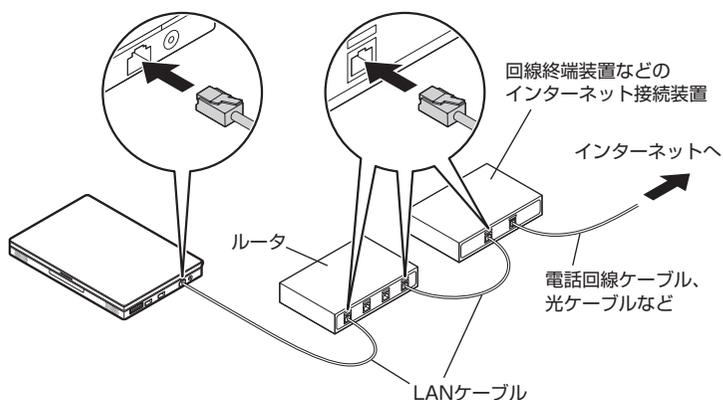
ルータを使う場合は、さらに次の機器や資料が必要になります。

・ ルータ
・ ルータに添付されているマニュアル

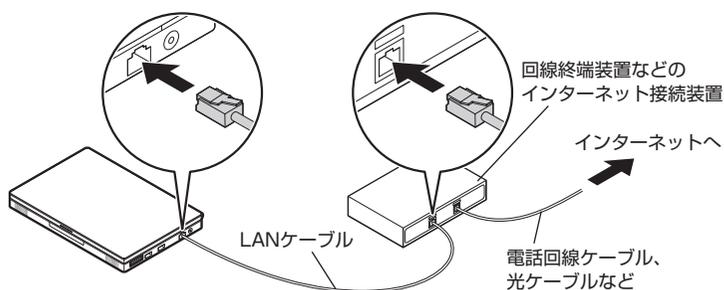
チェック!!

ここで説明している設定や流れは、あくまでも一例です。お使いの機器やプロバイダにより設定は大きく異なります。プロバイダから入手した説明書や、プロバイダのホームページなどで設定を確認することをおすすめします。

機器を接続する

ルータを利用する場合

ルータとパソコンを接続したら、ユーザー名やパスワードなどの接続情報をルータに設定、登録してください。設定については、「ルータを利用したブロードバンド接続の設定」(p.25)を参考にしてください。ルータのマニュアルやプロバイダから入手した説明書、資料がある場合は、それにしたがって設定してください。

チェック!!

- ルータタイプのADSLモデムは、パソコンに直接接続します。
- ケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

ルータを利用しない場合

ケーブルを接続したら、インターネットへの接続設定をおこないます。設定については、「ルータを利用しないブロードバンド接続の設定」(p.27)を参考にしてください。ご加入のプロバイダや回線事業者から入手した資料がある場合は、それにしたがって設定してください。

チェック!!

ケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。

ルータを利用した ブロードバンド接続の設定

ブロードバンドの通信回線が開通したら、パソコンを通信回線に接続して、設定をおこないます。

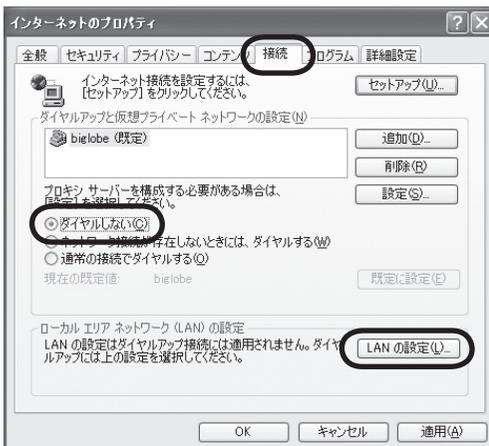
インターネットのプロパティを表示する

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

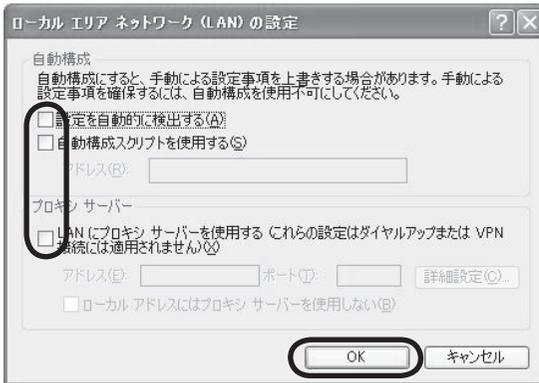
2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリック

「インターネットのプロパティ」が表示されます。

4 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」をクリックしたら、「LANの設定」をクリック

チェック!!

「ダイヤルしない」をクリックできないときは、そのまま「LANの設定」をクリックして、次の手順に進んでください。

5 図の各項目が□になっていることを確認し、「OK」をクリック

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面が閉じます。

6 「インターネットのプロパティ」画面の「OK」をクリック

画面が閉じます。

7 パソコンを再起動する

「スタート」-「終了オプション」をクリックし、表示された画面で「再起動」をクリックします。
しばらくすると、パソコンの電源が切れ、自動的にもう一度電源が入ります(再起動)。

これで、ルータを利用したブロードバンド接続の設定は完了です。
「インターネットに接続する」(p.30)へ進んでインターネットへの接続を試してください。

☑になっている項目があるときは、クリックして□に変更してください。

ルータを利用しない ブロードバンド接続の 設定

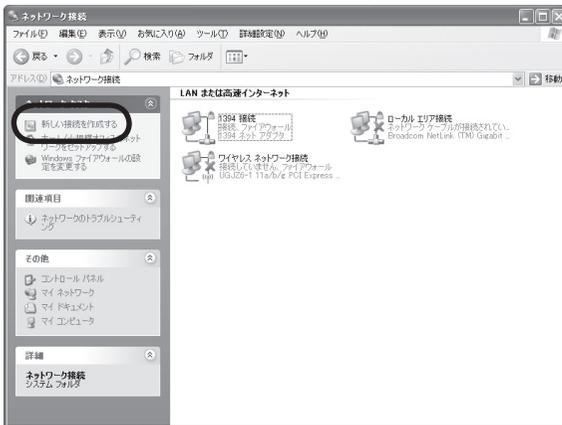
ブロードバンドの通信回線が開通したら、パソコンを通信回線に接続して、設定をおこないます。

「新しい接続ウィザード」で設定をする

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「ネットワーク接続」をクリック

4 「新しい接続を作成する」をクリック

「新しい接続ウィザード」が表示されます。

5 「次へ」をクリック

6 「インターネットに接続する」をクリックして、「次へ」をクリック

7 「接続を手動でセットアップする」をクリックして、「次へ」をクリック

8 「ユーザー名とパスワードが必要な広帯域接続を使用して接続する」をクリックして、「次へ」をクリック

9 「ISP名」欄に入会したプロバイダの名前を入力して、「次へ」をクリック

10 「ユーザー名」、「パスワード」、「パスワードの確認入力」を入力して、「次へ」をクリック

●ユーザー名とは

プロバイダに接続するための識別番号で、BIGLOBEの場合は「ユーザID」と呼ばれます。プロバイダから送られた会員証などで確認してください。「ログインID」、「アカウント名」などと呼ばれることもあります。

●パスワードとは

本人であることを証明するための暗証番号です。プロバイダから送られた会員証などで確認してください。「接続パスワード」などと呼ばれることもあります。

11 「完了」をクリック

「完了」をクリックすると、「新しい接続ウィザード」の画面が閉じ、プロバイダに接続するための画面が開きます。ここでは、「キャンセル」をクリックして、次に進んでください。

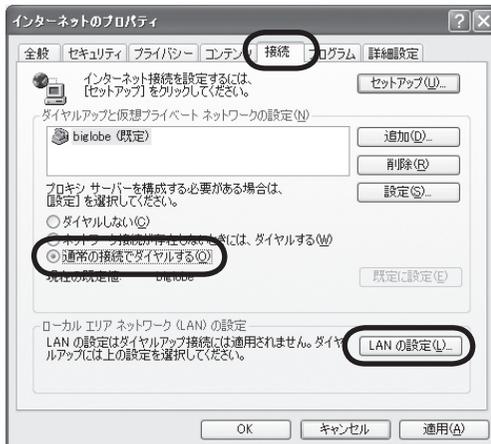
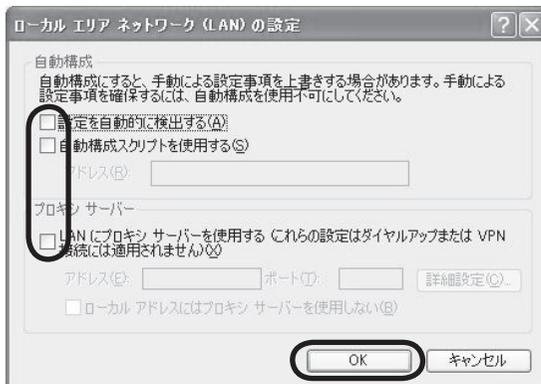
「インターネットのプロパティ」で「LANの設定」をする

1 「スタート」-「コントロールパネル」をクリック

2 「ネットワークとインターネット接続」をクリック

3 「インターネット接続のセットアップや変更を行う」をクリック

「インターネットのプロパティ」が表示されます。

4 「接続」タブをクリックし、「通常の接続でダイヤルする」をクリックしたら、「LANの設定」をクリック

5 図の各項目が□になっていることを確認し、「OK」をクリック

「ローカルエリアネットワーク(LAN)の設定」画面が閉じます。

6 「インターネットのプロパティ」画面の「OK」をクリック

画面が閉じます。

これで、ルータを利用しないブロードバンド接続の設定は完了です。
次の「インターネットに接続する」へ進んでインターネットへの接続を試してください。

チェック!!
☑になっている項目があるときは、クリックして□に変更してください。

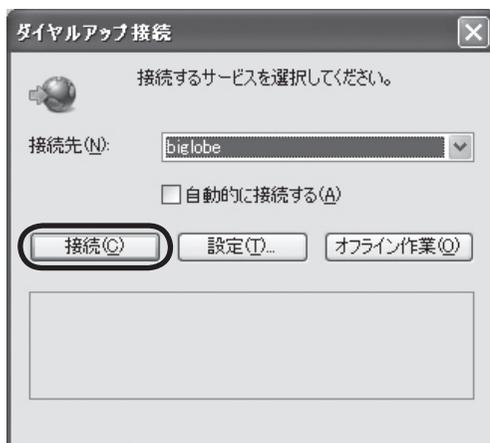
インターネットに接続する

インターネットに接続できるか確認します。

Internet Explorerを起動する

1 「スタート」-「インターネット」をクリック

●ルータを利用しない場合

次の接続用画面が表示されます。

「接続」をクリックすると、Internet Explorer(インターネットエクスプローラ)が起動して、プロバイダのホームページなどが表示されます(設定によっては、パスワードを入力する画面が表示されます)。

●ルータ、ルータタイプのADSLモデム、ワイヤレスLAN ルータを利用している場合

ルータ、ルータタイプのADSLモデム、ワイヤレスLANルータを利用している場合、接続用の画面は表示されず、直ちにInternet Explorerが起動して、プロバイダのホームページなどが表示されます。これは、パソコンの電源を入れると自動的にインターネットに接続されるためです。

これで、インターネット接続の設定は終わりです。
続けて「メールソフトを設定する」(次ページ)へ進んでください。

メールソフトを設定する

このパソコンには、メールをやりとりするためのソフト「Outlook Express」が用意されています。

設定に必要なもの

メールの設定には、次のものが必要です。

●プロバイダから入手した資料

プロバイダの会員証など、メールで使用するユーザー名やパスワードがわかる資料を用意してください。また、プロバイダから入手したメール設定用マニュアルなどがある場合、そのマニュアルにしたがって設定をおこなってください。

Outlook Expressの初期設定をする

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Outlook Express」をクリック

「インターネット接続ウィザード」が表示されます。

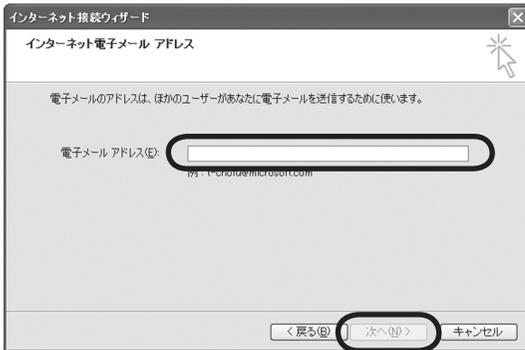
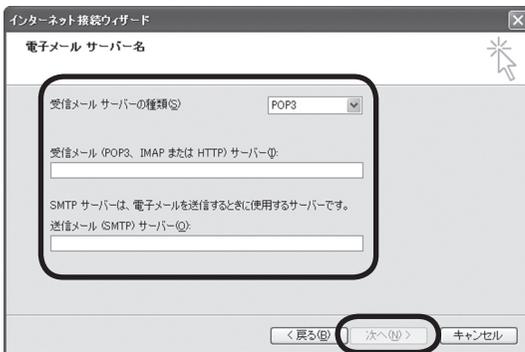
2 「表示名」に自分の名前を入力して、「次へ」をクリック

チェック!!

FTTHやADSLで接続する場合、使用する機器やプロバイダによっては、ここでの説明とは異なる設定が必要になることがあります。プロバイダの資料やホームページに設定例などが記載されている場合は、そちらも併せてご覧になり、設定することをおすすめします。

メモ

「表示名」に入力する名前は、日本語、アルファベット、どちらで入力してもかまいません。ここで入力した名前は、メールを送信するときに送信者として相手に表示されます。

3 利用する電子メールアドレスを入力して、「次へ」をクリック

4 「受信メールサーバーの種類」を選び、「受信メールサーバー」、「送信メールサーバー」を入力して、「次へ」をクリック

各用語の意味は次の通りです。

●受信メールサーバーの種類

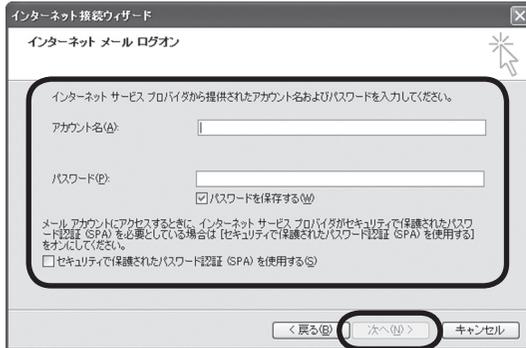
ほとんどのプロバイダは「POP3」という種類のサーバーを使っています。プロバイダが「IMAP」という種類のサーバーを使っている場合は「IMAP」を選びます。詳しくはプロバイダに確認してください。

●受信メールサーバー

プロバイダの会員証などを見て、アドレスを入力します。プロバイダによっては、「メールサーバー」、「POPサーバー」、「メール受信サーバー」などと呼ばれることもあります。

●送信メールサーバー

会員証などを見て、アドレスを入力します。プロバイダによっては、受信メールサーバーと送信メールサーバーのアドレスは同じことがあります。「メールサーバー」、「SMTPサーバー」、「メール送信サーバー」などと呼ばれることもあります。

5 「アカウント名」、「パスワード」を入力して、「次へ」をクリック

各用語の意味は次の通りです。

●アカウント名

会員証などを見て、アカウント名として記載されているものを入力します。「メールアカウント」、「メールサーバーログイン名」、「POPアカウント名」、「メールログイン名」などと呼ばれることもあります。

●パスワード

会員証などを見て、メールパスワードとして記載されているものを入力します。「メールサーバーパスワード」などと呼ばれることもあります。

6 「完了」をクリック

これで、メールを使うための設定は完了です。
メールの使い方について詳しくは、Outlook Expressのヘルプをご覧ください。

パソコンを安全に使うための設定をおこなう

コンピュータウイルスなどからパソコンを守るために気をつけたい点について説明しています。

パソコンやインターネットを安全に使うために

パソコンの誤動作や内部のデータ破壊を引き起こす、ウイルスなどの不正プログラムの被害が多くなっています。電子メールのやりとり、インターネット経由のソフト入手、他人から受け取ったディスクの使用などが原因になって、知らないうちに不正プログラムがパソコンに侵入することもあります。これらの被害を防ぐには、定期的な対策が必要です。

パソコンをウイルスから守るために(1)

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムのことです。インターネットやメールからパソコンに入り込んだり、CDやDVD、各種メモリーカードなどのメディアから感染する場合もあります。
ウイルスによる被害は、自分のパソコンのデータが破壊されたり個人情報が流出したりするだけでなく、ほかの人へ大量の電子メールが自動的に送信されることもあります。自覚がないまま加害者になり得る可能性もあるのです。

「ウイルスバスター」を最新の状態に更新する

このパソコンには、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」が入っていて、パソコンをウイルスから守ることができます。しかし、ウイルスは日々新しいものが出てくるので、新しいウイルスに対応するために、ソフトを常に最新の状態に更新(「アップデート」といいます)してウイルスチェックをしなければなりません。
このパソコンの「ウイルスバスター」では、ユーザー登録後はじめてアップデート機能を利用した日から90日間、無料でアップデートをおこなうことができます。90日間の無料期間を過ぎると、すべての機能が利用できなくなり、セキュリティ対策をおこなうことができません。無料期間終了後も継続してご利用いただくには、ダウンロード販売またはパッケージなどで製品版を購入し、ライセンスキーを入力していただく必要があります。
有料のサービスについて詳しくは、無料サービスの開始時に登録したメールアドレス宛に配信されるメールなどの案内をご確認ください。

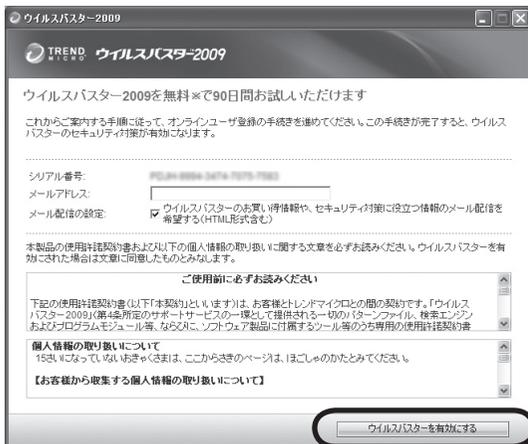
チェック!!
アップデートするには、インターネット接続の設定が必要です。

アップデートのしかた

パソコンをご購入後、アップデートする場合は、まずインターネットに接続をして、90日間無償サポートを受けるため、ユーザー登録をおこなう必要があります。

インターネット接続の設定が終わった後、画面右下のを右クリックして「メイン画面を起動」をクリックし、表示された画面で「オンラインユーザー登録」欄の「アップデート機能を利用できません」をクリックします。ユーザー登録の画面が表示されたら、記載内容をよく読み、必要事項を入力してから「ウイルスバスターを有効にする」をクリックしてください。

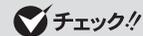
> **チェック!!**
> パソコンをご購入後、はじめてインターネットに接続してから3日間はユーザー登録をしていなくても自動的にアップデートがおこなわれます。

> **参照**
> ウイルスバスターの登録のしかたや、アップデートの方法について→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを使い始める」

パソコンをウイルスから守るために(2)

ウイルスの侵入を常にチェックする

「ウイルスバスター」には、ウイルスの侵入を常に監視する機能があります。その機能を「ウイルス/スパイウェアの監視」といいます。「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの侵入が自動的に監視されます。
ご購入時の状態では、ウイルスの侵入を常に監視する(「ウイルス/スパイウェアの監視」が有効)設定になっています。通常はこの状態でお使いください。画面右下のを右クリックして表示されるリストの「ウイルス/スパイウェアの監視」左側に✓が付いていないときは、「ウイルス/スパイウェアの監視」は無効です。✓が付いているときは有効です。
「ウイルス/スパイウェアの監視」を有効にしている間は、ウイルスの検査が頻繁におこなわれるため、ほかのソフトの動作が遅くなることがあります。ウイルスに対して安全な状況であるとわかっている場合、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効にすることができます。
また、パソコンや周辺機器の設定、インターネット接続の設定をするときなどに、ウイルスチェックを停止するよう指示が表示される場合があります。その場合も、「ウイルス/スパイウェアの監視」を一時的に無効に設定してください。
「ウイルス/スパイウェアの監視」の有効/無効設定について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルスを見張る」をご覧ください。

その他のウイルス対策ソフトを使う

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使うこともできます。

「ウイルスバスター」以外のウイルス対策ソフトを使用する場合は、必ず「ウイルスバスター」を削除(アンインストール)してください。

参照

ウイルスバスターの削除方法について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」の「追加方法と削除方法」

お子様を有害ホームページから守るために

インターネットにアクセスすると、さまざまなホームページを閲覧できます。しかし、有害な情報や違法情報を含むホームページもあります。
このようなホームページへのアクセスを自動的に遮断してくれるフィルタリング機能を使うことをおすすめします。
フィルタリングには、パソコンにフィルタリングソフトを追加して利用する方法と、インターネットプロバイダのフィルタリングサービスを利用する方法があります。お使いのプロバイダがフィルタリングサービスをおこなっているかは、各プロバイダにお問い合わせください。
利用者それぞれに適した設定ができるため、お子様も安心してインターネットを楽しめるようになります。
詳しくは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「安全に使うためのポイント」-「お子様を有害ホームページから守るために」をご覧ください。

外出先でブロードバンドを楽しむには

外出先で公衆ワイヤレスLANサービスを利用する方法について説明します。

公衆ワイヤレスLANサービス

公衆ワイヤレスLANサービスを利用すると、外出先で手軽にインターネットに接続できます。
ファストフード店や駅、空港などに設置されている「無線LANスポット」を利用すると、手軽にワイヤレスLANを使ってインターネットに接続できます。
有料であらかじめ会員登録が必要なものや、フリースポットといって無料で接続できるものもあります。
また、プロバイダによっては、有料のワイヤレスLANサービスを用意している場合もあります。お使いのプロバイダがサービスをおこなっているか、ホームページなどで確認してみましょう。

「ホットスポット」アクセスを利用する

公衆ワイヤレスLANサービスの一例として、BIGLOBEの「ホットスポット」アクセス(有料)を利用したインターネット接続の流れを紹介します。

1 **BIGLOBEに入会し、ユーザIDとパスワードを入手する**

2 **インターネットに接続し、BIGLOBEのホームページでSSIDとWEPキーを確認する**

BIGLOBEのホームページで、ユーザIDとパスワードを入力すると、パソコンの設定に必要なSSIDとWEPキーが表示されます。

3 **このパソコンのワイヤレスLANの設定、ネットワークの設定、ブラウザの設定をする**

4 **ホットスポット サービスエリア検索のホームページで、利用可能な「無線LANスポット」(サービスエリア)を確認する**

利用したい「無線LANスポット」を検索することができます。このホームページはBIGLOBEのホームページからアクセスできます。

5 **「無線LANスポット」へ行き、パソコンのワイヤレスLAN機能をオンにし、ブラウザを起動する**

チェック!!

- 設定や注意事項について詳しくは、次のホームページ(BIGLOBEのホームページ)をご覧ください。
http://mobile.biglobe.ne.jp/wifi/index3.html
- このサービスをご利用いただいた場合、BIGLOBEの月額基本料金とは別に「ホットスポット」アクセス サービス料金がかかります。詳しくは、BIGLOBEのホームページをご覧ください。

チェック!!

一部のサービスのユーザID、パスワードでは「ホットスポット」アクセスをご利用いただけない場合があります。詳しくは、BIGLOBEのホームページをご覧ください。

6 **「HOTSPOT」のログイン画面が表示されるので、次のログインIDとパスワードを入力しインターネットに接続する**

ログインID：abc12345@biglobe.ne.jp（BIGLOBEのユーザIDがabc12345の場合）

パスワード：BIGLOBEのパスワード

これでインターネット接続ができました。ログインすると、パソコンの画面にログアウト用の小さいウィンドウが表示されます。

7 **インターネット接続を終了する場合は、「ログアウトします。」の画面の「OK」をクリック**

ログアウトが完了し、「ログアウトしました。」の画面が表示されます。

ログアウトを完了しないで、「無線LANスポット」を離れたりパソコンの電源を切ると、数分後に自動的にログアウトしますが、その間にも「ホットスポット」アクセス サービス料金がかかります。

LaVie Light メニュー

ここでは、LaVie Light メニューについてご紹介します。

LaVie Light メニューには、メールをやり取りするためのソフトや音楽を聴くためのソフトなど、よく使うソフトがまとめられています。また、便利なホームページを集めた「おすすめネットサービス」も表示されます。パソコンの画面で見るマニュアル「サポートナビゲーター」も、ここから起動することができます。

LaVie Light メニューを活用して、このパソコンを使いこなしてください。

チェック!!

- 新たにインストールしたソフトなどを、LaVie Light メニューに追加したり、LaVie Light メニューから項目を削除することはできません。
- LaVie Light メニューが表示されていない場合は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「LaVie Light メニュー」-「LaVie Light メニュー」をクリックすると起動します。

メモ

LaVie Light メニューをパソコンの起動時に表示させるかどうかは、LaVie Light メニューの「設定画面」（ウィンドウ右上の（設定）をクリックして表示される画面）で設定できます。

PART

2

このパソコンのおすすめ機能

ここでは、外出時に便利な機能など、このパソコン特有の機能について説明しています。パソコンの設定が終わったら、このPARTをご覧になり、あなたのパソコンライフに役立ててください。

モバイルパソコン活用のヒント

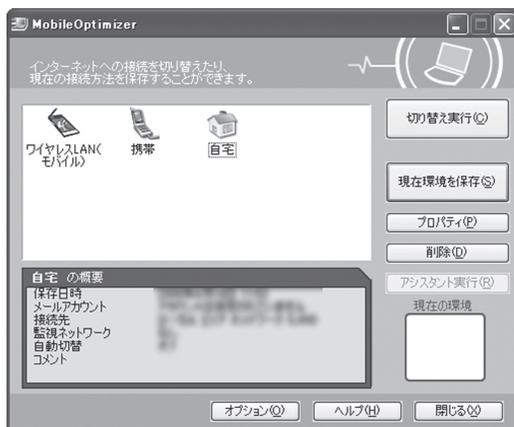
ここでは、外出時に便利な機能や情報について紹介しています。

外出先でインターネットする

●外出先でワイヤレス接続する

ワイヤレスLAN機能を使うことで、駅や空港、ホテル、カフェなどで提供されるワイヤレスLANサービスを利用し、ブロードバンド接続ができます。また、こういったサービスが提供されない場所でも、通信カードや携帯電話接続ケーブルを使ってインターネットにアクセスできます。

●「MobileOptimizer」で通信環境を切り換える

添付のソフト「MobileOptimizer(モバイルオプティマイザー)」を使うと、外出先での通信環境の切り換えがスムーズです。さらに、「ネット切替アシスタント機能」をオンにしておけば、自分で接続環境を選ぶ手間を省くこともできます。

チェック!!

サービスの内容、申し込み方法、利用する場所などについては、サービスを提供する事業者によって異なります。サービスの詳しい内容については、事業者にお問い合わせください。

参照

「MobileOptimizer」の起動方法について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「MobileOptimizer」または「スタート」-「すべてのプログラム」-「MobileOptimizer」-「MobileOptimizer ヘルプ」

外出先でのセキュリティ対策

外出先では、ファイアウォールやウイルス対策ソフトによる不正アクセス防止策やデータ保護策とともに、パソコン本体の置き忘れや盗難にも注意してください。
もし運悪く誰かの手に渡ってしまっても、情報を悪用されないように予防しておくことが大切です。

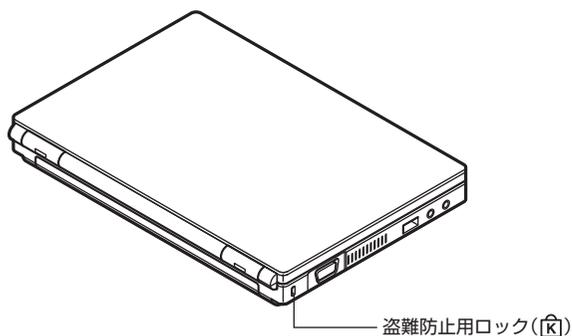
●セキュリティを万全にする

ワイヤレスLANサービスでは、不特定多数のパソコンがネットに接続されます。このパソコンに添付されている「ウイルスバスター」やセキュリティ機能を利用して、セキュリティには十分に注意してください。

●パスワードをかける

BIOSによる「パソコン起動時のパスワード」「Windowsの起動セクタを保護するための設定」や「SSDにパスワードロックをかける方法」などのパスワード機能を組み合わせて使えば効果的です。

●盗難防止グッズを使う

パソコン本体の盗難防止には別売のセキュリティケーブル(PC-VP-WS15)が効果的です。また、設定した範囲からパソコンを移動しようとすると、警告音を発したり起動ロックがかかったりするような盗難防止グッズもあります。

参照

・「ウイルスバスター」の設定、使い方について→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」-「ウイルス対策ソフトを使い始める」
・セキュリティについて→「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」

参照

「BIOSセットアップユーティリティ」について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

バッテリを長持ちさせるコツ

外出先でバッテリが切れてしまうのは心配のタネですが、ほんの少し気を配るだけでも意外に長持ちします。ここではバッテリを長持ちさせるコツを紹介します。

●正しい充電でバッテリ性能をキープする

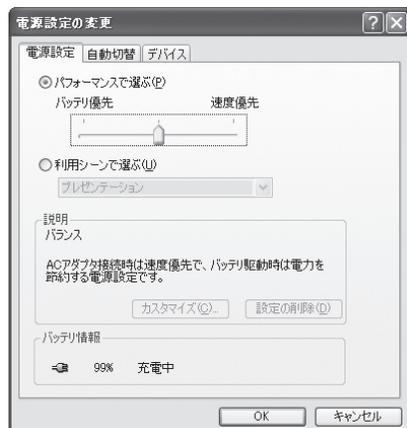
充電はできるだけバッテリ残量が0%に近い状態になってから、容量が100%になるまでフル充電するのが理想です。また、充電できる電池容量は周囲の温度によって異なります。たとえば、真夏の暑い部屋では、高温により充電が中断されることもあります。

●残量が少なくなったら

ここにマウスポインタを合わせるとバッテリ残量の目安が表示されます。

- 電源ランプがオレンジ色に点灯したら
  バッテリ残量が少なくなっています。早めに充電してください。
- 電源ランプがオレンジ色に点滅したら
  バッテリ残量が残りわずか(自動的に休止状態に入る)です。すぐにACアダプタを取り付けてください。

●パワーモードチェンジャーを使う

「パワーモードチェンジャー」で、電源の設定を「バッテリ優先」など電力の消費を押さえる設定に切り換えると効果的です。また、ディスプレイの輝度を暗めに設定するのも効果があります。
キーボードの【Fn】を押しながら【F4】を押すと、「パワーモードチェンジャー」のメニューが表示され、電源の設定を選ぶことができます。
また、このメニューで「電源設定の変更」をクリックすると、次の「電源設定の変更」の画面が表示され、より詳細な設定変更をすることができます。

参照
正しい充電のしかたについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」

チェック!!
パソコン本体がスタンバイ状態のときは、電源ランプは点滅します(バッテリ残量がない場合を除く)。

メモ
パワーモードチェンジャーの「カスタマイズ」から、ディスプレイの輝度(明るさ)も変更できます。

参照
パワーモードチェンジャーについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「パワーモードチェンジャー」

●節電設定ツールを使う

「節電設定ツール」では、LAN機能やワイヤレスLAN機能、パワーオフUSB充電機能の有効／無効を設定できます。
使用しない機能を無効にすることで、電力の消費をおさえることができます。

「節電設定ツール」は、「スタート」-「すべてのプログラム」-「節電設定ツール」-「節電設定ツール」をクリックして起動します。

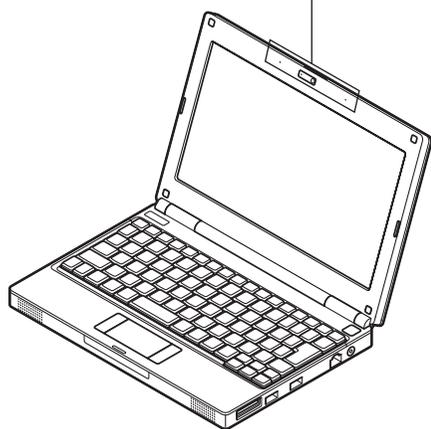
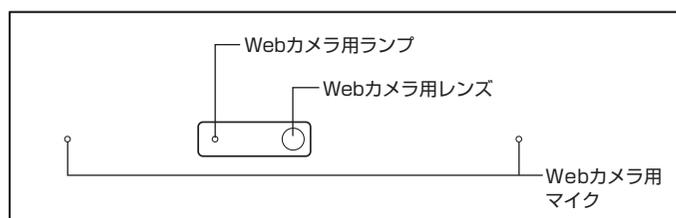
●長時間の外出や出張には

外出時の使用がメインの場合は、交換用のバッテリパックを用意することを特におすすめします。
また、バッテリ切れに備えて、ACアダプタと電源コードを忘れずに用意しておきましょう。

参照
節電設定ツールについて→「節電設定ツール」のヘルプ

Webカメラを使う

このパソコンのディスプレイ上部には、Webカメラが搭載されています。Windows Live Messengerを利用してテレビ電話(ビデオチャット)ができます。

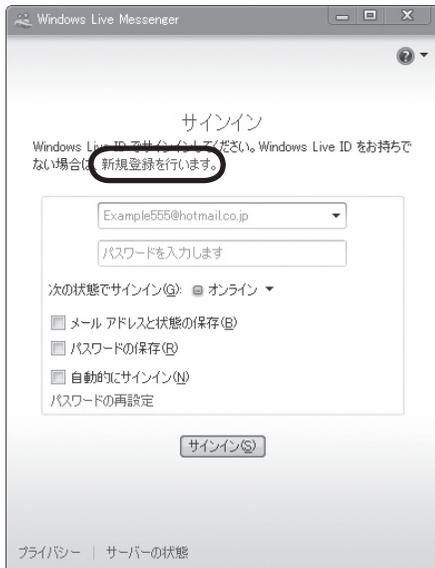
Webカメラは、ディスプレイ上部中央に搭載されており、レンズ、マイク、およびランプで構成されています。レンズで対象を撮影し、マイクで音声を収集します。ランプはWebカメラを使用しているときに点灯します。

チェック!!

ご購入時には、Webカメラのレンズ部に破損防止のための保護用シールが貼られています。Webカメラをご使用になる前に取り外してください。

テレビ電話(ビデオチャット)をする

●テレビ電話の準備をする

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live」-「Windows Live Messenger」をクリック

2 サインイン画面の「新規登録を行います。」をクリックして、IDを登録する

3 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

次回からは、取得したメールアドレスとパスワードを入力すると、すぐに始めることができます。

テレビ電話を開始する場合は、次の「●テレビ電話を始める」の手順3に進んでください。

●テレビ電話を始める

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Live」-「Windows Live Messenger」をクリック

2 メールアドレスとパスワードを入力し、「サインイン」をクリック

3 画面右上の をクリックし、表示されたメニューから「メニューバーを表示します」をクリック

チェック!!

- テレビ電話を利用するには、インターネットに接続できる環境が必要です。あらかじめインターネットの設定を完了させておいてください。なお、送受信するデータが大きくなるため、FTTHやADSLなどのブロードバンド接続をおすすめします。
- テレビ電話は、相手側にもWebカメラやマイクロフォンなどの周辺機器が必要になります。

チェック!!

IDの登録は無料です。

メモ

- 「メールアドレスと状態の保存」や「パスワードの保存」の左の□をクリックして☑にしておくと、次回から入力の手間を省くことができます。ただし、これらのチェックを入れた場合は、セキュリティをしっかり設定してください。
- メールアドレスとパスワードについて詳しくは、Windows Live Messengerのヘルプをご覧ください。

メモ

メールアドレスやパスワードを保存している場合は、「サインイン」をクリックしてください。

4 「操作」-「映像通話」-「映像通話の開始」をクリック

通話可能なメンバーが表示されます。

5 通話するメンバーを選択し、「OK」をクリック

これ以降の操作は、画面に表示される説明を読みながら操作を進めてください。
また、詳しい操作方法については、Windows Live Messengerのヘルプをご覧ください。

●音声が聞き取りにくいときは

「Windows Live Messenger」でテレビ電話を使用しているとき、ノイズやエコーが入ったり音声が聞き取りにくい場合は、次の方法でクリアな音質での通話ができるようになります。

・音量調節をおこなう
音量が大きすぎるとノイズやエコーなどが発生しやすくなります。通話が可能な範囲で音量を少しずつ下げてください。

・ヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを使用する
ヘッドセットを使用する場合は、次の手順でマイクの設定を変更してください。

1 あらかじめヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットを取り付けてから、「Windows Live Messenger」を起動する

2 メニューバーを表示し、「ツール」-「オーディオとビデオのセットアップ」をクリック

「オーディオとビデオの設定-スピーカー/マイクまたはスピーカーフォン」画面が表示されます。

3 「スピーカー/マイクまたはスピーカーフォン」のプルダウンメニューで「ユーザー設定」を選択する

4 使用するスピーカーとマイクをそれぞれ選択し、音量のテストをおこなって適切な値に調整する

5 「完了」をクリック

これで、設定は完了です。

メモ

・通話相手がWindows Live Messengerを使っている場合は、その人のWindows Live IDを登録することでメンバーに追加できます。そうでない人も、招待メールで参加を呼びかけることができます。
・パソコンをスタンバイ状態にするときは、その前に「Windows Live Messenger」を終了してください。

チェック!!

【Fn】を押しながら【F10】を押すと音が小さくなり、【Fn】を押しながら【F11】を押すと音が大きくなります。

チェック!!

・ヘッドフォン/オーディオ出力端子にヘッドフォン(イヤフォン)やヘッドセットなどを接続すると「Realtek HDオーディオマネージャ」の「デバイスタイプ」の画面が表示されるので、「ヘッドフォン」を選択して「OK」をクリックしてください。
・Windows Live Messengerを終了するまでヘッドセットを取り外さないでください。終了前にヘッドセットを取り外した場合は、Windows Live Messengerを再起動してください。

PART

3

再セットアップ

パソコンを起動できなくなったときなどの「最後の手段」が再セットアップです。再セットアップをおこなうと、パソコンに保存されている大切なデータや設定の内容などが失われてしまうことがあります。作業を始める前に、このPARTの説明をよくお読みください。

再セットアップを始める前に

再セットアップの意味を理解して、いくつかのトラブル解決手段を試してみましょう。

パソコンをご購入時の状態に戻す、再セットアップ

再セットアップとは、パソコンを買ってきた直後におこなうセットアップ(準備作業)をもう一度おこなって、パソコンの中をご購入時の状態に戻すことです。エラーメッセージが何度も表示されたり、フリーズ(画面の表示が動かなくなること)が多くなったりしたときは、意識しないうちにパソコンのシステムが壊れたり、設定が変更されてしまった可能性があります。再セットアップすると、パソコンをご購入時の状態に戻すことができます。
しかし、再セットアップをおこなうと、自分で作って保存しておいた文書や電子メールの内容、アドレス帳などがすべて消えてしまいます。どうしてもトラブルを解決できないときの最後の手段として再セットアップをおこなってください。大切なデータは、再セットアップの前にデータのバックアップ(データの控えを残しておくこと)を取ってください。

再セットアップの前に試すこと

再セットアップを始める前に、次のことを試してみてください。問題が解決することがあります。

●ウイルスチェックをおこなう

ウイルスとは、パソコンに誤動作やデータの破壊などのトラブルを引き起こす不正プログラムです。インターネットやメールを経由してパソコンに入り込んだり、ウイルスに感染したディスクからパソコンに感染してしまうこともあります。
知らないうちに保存したデータが消えていたり、意味不明な文字や絵が突然画面に表示されたりしたときは、次のようにしてウイルスをチェックしてください。
ウイルスが駆除されればパソコンが正常に使えるようになることがあります。

1 デスクトップ画面右下の通知領域にある を右クリックし、「検索開始」をクリック

アイコンが表示されていないときは、「スタート」-「すべてのプログラム」-「ウイルスバスター 2009」-「ウイルスバスター 2009を起動」をクリックしてください。「ウイルスバスター」のメイン画面が表示されたら「検索開始」をクリックしてください。

ウイルスのチェックが完了するまでにしばらく時間がかかります。ウイルスが見つかったときは、画面に表示される指示にしたがって操作してください。

チェック!!
ウイルスチェックは、常に最新のウイルス情報をもとにおこなう必要があります。「ウイルスバスター」は、ユーザー登録をおこなった日から90 日間、無料で最新のウイルススキャンやウイルスパターンファイルにアップデートをおこなうことができます。詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「ウイルスバスター」をご覧ください。

●セーフモードでパソコンを起動してみる

電源を入れてもパソコンが正常に起動しないときなどは、次のようにしてパソコンをセーフモードで起動してください。

1　パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2　パソコン本体の電源を入れる

3　「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す

4　「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「セーフ モード」を選び、【Enter】を押す

「オペレーティング システムの選択」が表示されたときは、「Microsoft Windows XP Home Edition」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

5　ユーザー選択の画面が表示されたら、自分のユーザーアカウントを選んでログオンする

これで、パソコンはセーフモードで起動しました。

> この方法でトラブルが解決しなかった場合は、次の「データのバックアップを取る」で大切なデータをバックアップした後で、「システムの復元を試みる」(p.52)へ進んでください。

●データのバックアップを取る

パソコンでトラブルが起きたとき、Windowsそのものやこのパソコンに添付のソフトは、システムの修復や再セットアップで復元する(正常な状態に戻す)ことができますが、自分で作成した文書や、住所録、電子メール、インターネットの設定などはもとには戻せません。大切なデータを失わないためには、これらの方法をおこなう前にDVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに、必ずデータのバックアップを取ってください。

メモ

セーフモードは、Windowsの機能を限定して、必要最小限のシステム環境でパソコンを起動する、Windowsの起動モードのひとつです。通常の操作ではパソコンが起動しない場合でも、セーフモードならば起動できることがあります。
セーフモードについて、詳しくは「スタート」-「ヘルプとサポート」-「問題を解決する」-「問題のトラブルシューティング」-「Windowsをセーフモードで起動する」をご覧ください。

チェック!!

- セーフモードでは、Windowsの最小限の機能しか使えません。
- 手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体前面のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。
- 手順4で「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやりなおしてください。
- セーフモードで起動した後、「スタート」-「終了オプション」-「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、正常な状態に戻ります。

チェック!!

DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。なお、外付けDVD/CDドライブでのデータの保存に、DVD-RAMはご利用いただけません。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

●システムの復元を試みる

システムの復元によって、トラブルが発生する前の「復元ポイント」を指定して、Windowsを構成する基本的なファイルや設定だけをもとに戻すことができます。この方法を使うと、「ドキュメント」などに保存しておいたデータの多くをそのまま残しておくことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「システム ツール」-「システムの復元」の順にクリック**

2 **「システムの復元」の画面が表示されたら、「コンピュータを以前の状態に復元する」が◉になっていることを確認し、「次へ」をクリック**

3 **カレンダーから復元したい日付をクリック**

太字で表示された日付から、トラブルが起きるようになる前の日付を選んでください。

4 **選択した日付の「復元ポイント」が複数表示されているときは、どれかをクリックして選択し、「次へ」をクリック**

5 **「復元ポイントの選択の確認」が表示されたら、内容を確認して「次へ」をクリック**

選択した「復元ポイント」の時点にさかのぼって、パソコンのシステムが復元されます。しばらくすると、自動的にパソコンが再起動します。

6 **「復元は完了しました」と表示されたら、「OK」をクリック**

これで、システムの復元は完了です。

チェック!!

- システムの修復をおこなう前にデータのバックアップを取ってください。システムを修復することで大切なデータが失われることがあります。
- システムの修復をおこなうときは、前もって起動中のソフトを終了させてください。
- Windowsが正常に起動しない場合は、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.51)でセーフモードで起動した後、システムの復元をおこなってみてください。

チェック!!

- セーフモードで起動したときは、復元ポイントの作成はできません。
- システムの復元ポイントを選択するときに、一番古い復元ポイント(システムチェックポイント)は選択しないでください。一部のアプリケーションやWindowsの機能が正常に動作しなくなります。少なくとも、古い方から2番目以降の復元ポイントを選択してください。

●「前回正常起動時の構成」でシステムを起動する

セーフモードでもパソコンを起動できず、「システムの復元」も実行できないときでも、次の操作で起動できることがあります。

1 **パソコン本体の電源を入れる**

2 **「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F8】を何度か押す**

3 **「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されたら、【↑】、【↓】を使って「前回正常起動時の構成(正しく動作した最新の設定)」を選び、【Enter】を押す**

「Windows 拡張オプション メニュー」が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順1からやりなおしてください。

4 **「オペレーティング システムの選択」と表示されたら、そのまま【Enter】を押す**

これで、前回正常起動時の構成を使用してパソコンが起動します。

チェック!!

手順2で「NEC」のロゴが表示されず【F8】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体前面のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F8】を何度か押してください。

再セットアップする（Cドライブのみ）

このパソコンのSSDにあるCドライブの内容をご購入時の状態に戻します。

SSDに格納されている再セットアップ領域のデータ（NEC Recovery System）を、Cドライブに書き込んで再セットアップします。SSDの領域の変更はしません。

●こんなことができます

・ Cドライブのデータを手軽にご購入時の状態に戻せます

●こんなかたにおすすめ

・ 再セットアップしたいほとんどのかたにおすすめ
・ まだパソコンに慣れていないかた、ドライブのフォーマットなどの経験がないかたは、必ずこの方法で再セットアップしてください

●再セットアップの流れ

再セットアップは次の13項目の作業を連続しておこないます。項目によっては（　）内におよその作業時間を示していますが、実際にかかる時間はモデルやパソコンの使用状況で異なります。

1. 必要なものを準備する
2. バックアップを取ったデータを確認する
3. インターネットやLANの設定を控える
4. ユーザー名を控える
5. BIOS（バイオス）の設定を初期値に戻す：初期値を変更している場合のみ
6. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り外す
7. システムを再セットアップする（約1時間）
8. Windowsの設定をする（約30分）
9. 別売の周辺機器（プリンタ、スキャナなど）を取り付けて設定しなおす
10. インターネット接続の設定などをやりなおす
11. 別売のソフトをインストールしなおす
12. バックアップを取ったデータを復元する
13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

チェック!!

・ SSDの状態をご購入時から変更（ダイナミックディスクなど）した場合、Cドライブのみ再セットアップすることはできません。
・ この方法で再セットアップをすると、Cドライブに保存されているデータはすべて削除されますので、必要なデータは再セットアップの前にバックアップを取っておく必要があります。
・ 再セットアップは中断しないでください。
・ SSDの状態をご購入時から変更（パーティションの追加・削除など）した場合、Cドライブのみの再セットアップができないことがあります。その場合は、SSDを購入時の状態に戻して再セットアップをおこなってください。

再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップを取ってください。再セットアップすると、Cドライブに保存してあるデータはすべて失われます。

1. 必要なものを準備する

再セットアップの作業を始める前に、『ユーザーズマニュアル』(このマニュアル)を準備してください。

また、このパソコンのご購入後にお客様ご自身でインストールしたソフトを使うときは、そのソフトのインストールが必要です。使用するソフトに添付のマニュアルをご覧になり、インストールに必要なものを準備してください。

2. バックアップを取ったデータを確認する

「データのバックアップを取る」(p.51)でバックアップを取ったデータの内容を、もう一度確認してください。万一、バックアップに失敗しているものがあったり、バックアップを取り忘れていたデータが見つかったときは、バックアップを取りなおしてください。

3. インターネットやLANの設定を控える

再セットアップをおこなっても、インターネット接続の設定は自動的には復元されません。インターネットを利用している場合、プロバイダの会員証を用意してください。会員証がない場合は、次の項目をメモしてください。

- ・ユーザー ID
- ・パスワード
- ・電子メールアドレス
- ・メールパスワード
- ・プライマリDNS
- ・セカンダリDNS
- ・メールサーバ
- ・ニュースサーバ

参照

バックアップについて→「データのバックアップを取る」(p.51)

チェック!!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書き留めて、後で設定しなおしてください。

チェック!!

受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップをおこなうと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップを取っておいてください。

4. ユーザー名を控える

このパソコンをご購入後、はじめて電源を入れておこなったセットアップ作業で設定したユーザー名を確認し、次の「ユーザー1」の欄に控えておきます。

	ユーザー名
ユーザー 1(1人目)	
ユーザー 2(2人目)	
ユーザー 3(3人目)	
ユーザー 4(4人目)	

5. BIOSの設定を初期値に戻す:初期値を変更している場合のみ

BIOSの設定を変更している場合は、BIOSセットアップユーティリティを起動して、BIOSの設定を初期値(デフォルト値)に戻してください。なお、初期値に戻す前に、現在の設定内容をメモに取るなどして控えておくことをおすすめします。

6. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す

別売の周辺機器は、すべて取り外してください。また、インターネットの通信回線との接続に使っているLANケーブルも取り外してください。ワイヤレスLANを使っているときは、ワイヤレススイッチをオフにしてください。

7. システムを再セットアップする

次の操作を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 パソコン本体の電源を切る

通常の操作で電源を切ることができないときは、電源スイッチを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

2 パソコン本体の電源スイッチを押して電源を入れる

3 「NEC」のロゴマークが表示されたら、【F11】を何度か押す

チェック!!

家族など、このパソコンを複数のユーザーで共有している場合は、それらのユーザー名も一緒に控えておくことをおすすめします。

チェック!!

ユーザー名を控えるときには、次の点に注意してください。

- 大文字と小文字の区別に注意
- 全角と半角の区別に注意
- 入力ミスに注意(数字の「1」とアルファベットの「l」(エル)など)

チェック!!

BIOSの設定を初期値に戻すには、PART4の「パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない」(p.83)をご覧になり、手順2からおこなってください。

チェック!!

外付けのハードディスクドライブなどを接続したまま再セットアップをおこなうと、ハードディスク内のデータが削除される場合があります。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後まで操作してください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

チェック!!

手順3で「NEC」のロゴが表示されず【F11】が押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体前面のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F11】を何度か押してください。

4 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック

5 「再セットアップとは」の画面が表示されたら「次へ」をクリック

6 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック

7 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら「次へ」をクリック

8 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、「Cドライブのみ再セットアップ」を選び「次へ」をクリック

9 「Cドライブのみ再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック

再セットアップが始まります。再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、電源スイッチなどに触れないでください。

10 「パソコンを再起動します」の画面が表示されたら、「再起動」をクリック

パソコンが再起動されたら、次の「8. Windowsの設定をする」に進んでください。

8. Windowsの設定をする

次の手順で操作してください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されていることを確認する

2 「次へ」をクリック

3 「使用許諾契約」が表示されたら、「同意します」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

4 「コンピュータを保護してください」が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」をクリックして○を◉にして、「次へ」をクリック

5 「コンピュータに名前を付けてください」が表示されたら、そのまま、「次へ」をクリック

「NECPC」など好みの名前を入力してもかまいません。また、再セットアップする前に付けていた名前と異なるものを入力してもかまいません。

チェック!!
手順4で「再セットアップツール」の画面が表示されず、パソコンが通常のように起動してしまったときは、いったん電源を切り、手順2からやり直してください。

チェック!!
再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。再セットアップの進行中に数回「ピー」と音がすることがありますが、これは再セットアップ処理が正しく進んでいることを示すもので、故障ではありません。

チェック!!
処理が終了したことを示す画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常におこなわれていません。手順1から操作をやりなおしてください。

6 「インターネットに接続する方法を指定してください」または「インターネット接続が選択されませんでした」と表示されたら、そのまま「省略」をクリック

7 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」と表示されたら、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして◯を◉にして、「次へ」をクリック

8 「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」と表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして◯を◉にして、「次へ」をクリック

9 「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」と表示されたら、あらかじめ控えておいたユーザー名を正確に入力して、「次へ」をクリック

10 「設定が完了しました」と表示されたら、「完了」をクリック

しばらくすると、「パソコンの診断が終了しました。」と表示されます。

11 [➡]をクリック

12 「121ポップリンクの設定」が表示されたら、「利用する」が◉になっていることを確認し、[➡]をクリック

13 「LaVie Light メニューの設定」が表示されたら[➡]をクリック

パソコンを起動したときに「LaVie Light メニュー」を表示させたい場合は、「自動起動を有効にする」の☐をクリックして☑にしてください。

14 「インターネット エクスプローラのホームページを設定します。」と表示されたら、BIGLOBEホームページかYahoo! JAPANホームページのいずれかを選んで ◉ にし、[➡]をクリック

15 「設定が完了しました。」と表示されたら、[➡]をクリック

16 「保護者の方へ」画面が表示されたら、表示された内容を確認し、[➡]をクリック

パソコンが再起動します。再起動後、「システムの復元ポイントの設定」の画面が表示されます。しばらくすると、もう一度再起動します。

これでWindowsの設定は終了です。

チェック!!

ここで、「アップデートを行います。」という画面が表示された場合は、画面の表示にしたがい「再セットアップ用DVD/CD-ROM(2枚目)」をセットし、「次へ」をクリックしてください。

メモ

121ポップリンクは、お使いの機種に適した最新情報をNECからインターネット経由でお届けするサービスです。

チェック!!

・「LaVie Light メニュー」の自動起動は、セットアップ完了後にも「LaVie Light メニュー」で設定できます。
・「LaVie Light メニュー」について詳しくは、PART1の「LaVie Light メニュー」(p.39)をご覧ください。

チェック!!

ホームページの設定は、セットアップ完了後に変更できます。変更方法について詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「使いやすい設定に変更する」-「Internet Explorerを使いやすくする」をご覧ください。

9. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り付けて設定しなおす

1 パソコンの電源を切る

2 取り外した周辺機器を取り付け、それぞれのセットアップや設定をおこなう

10. インターネット接続の設定などをやりなおす

再セットアップをおこなうと、インターネット接続の設定もやりなおす必要があります。プロバイダに接続するためのユーザー名やパスワードなどは、入会時に決まったものがそのまま使用できます。サインアップ(入会申し込み)をやりなおす必要はありません。

11. 別売のソフトをインストールしなおす

パソコンに別売のソフトをインストールしていた場合は、それぞれのソフトに添付のマニュアルにしたがってインストールをおこなってください。

12. バックアップを取ったデータを復元する

「データのバックアップを取る」(p.51)でバックアップしたデータを復元してください。

13. Windowsやウイルス対策ソフトなどを最新の状態にする

必要に応じて、Windows アップデートやMicrosoft Update、その他のソフトのアップデートをおこなってください。また、ウイルス対策ソフトを最新の状態にしてください。
詳しくは、Windowsのヘルプや、各ソフトのヘルプおよびマニュアルをご覧ください。

これで再セットアップの作業は完了です。

チェック!!
セットアップや設定の手順、パソコンの電源を入れるタイミングなどについては、ご利用の周辺機器に添付のマニュアルにしたがってください。

Cドライブの領域を変更して再セットアップする

このパソコンのSSDにあるCドライブの領域を変更してから、Cドライブをご購入時の状態に戻します。

> 初心者のかたや、ドライブの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.54)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブの領域サイズを10Gバイトから1Gバイト単位で変更できます。Cドライブの領域サイズは、最大でもSSD全体のサイズから再セットアップ用データを除いたサイズとなります。
SSDに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・Cドライブのサイズを変更する

●こんなかたにおすすめ

・パソコンやドライブの知識を十分にお持ちのかた
・Cドライブの領域を変更したいかた

再セットアップ手順

1 このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.54)をご覧になり、「1.必要なものを準備する」～「7.システムを再セットアップする」の手順1 ～ 7までの作業をおこなう

2 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」をクリック

3 「次へ」をクリック

4 「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

5 「Cドライブの領域を指定します」の画面が表示されたら、Cドライブの領域の大きさを指定して「実行」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.57)以降の説明を参考にしてください。

チェック!!

・この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブのデータが失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。
・再セットアップ用DVD/CD-ROMを使ってこの方法で再セットアップすると、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。
・SSDの状態をご購入時から変更(パーティションの追加・削除など)した場合、Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップできないことがあります。その場合は、SSDを購入時の状態に戻して再セットアップをおこなってください。
・この方法で作成できるCドライブの領域の上限は11GBです。さらにCドライブの領域を広げたいときは、再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成し、それを使ってCドライブの領域を変更してください。(p.64)

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成手順を説明します。

再セットアップ用DVD/CD-ROMとは

再セットアップ用DVD/CD-ROMの作成には、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。

このパソコンは、SSDに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)を使って、再セットアップをおこなうしくみになっています。
この再セットアップ領域のデータをディスクに保存したものが「再セットアップ用DVD/CD-ROM」です。
このディスクを使ってパソコンを再セットアップすることができます。
また、パソコンを購入時の状態に戻したり、パソコン内のデータを消去することもできます。

チェック!!
通常は、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.54)をご覧になり、この方法で再セットアップしてください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成する

このパソコンに入っている「再セットアップディスク作成ツール」を使って再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成します。

未使用のディスクを準備する

必要なディスクの枚数は、p.62の手順3の画面で確認してください。作成には、CD1 枚につき最大約30分、DVD1枚につき最大約100分かかります。

・ 必ず次の容量のディスクを用意してください。
CD-R ディスクの場合:700M バイトまたは650M バイトのもの
DVD-R/+R ディスクの場合:4.7G バイトのもの
DVD+R(2 層)ディスクの場合:8.5G バイトのもの

・ DVD-R/+R ディスク、またはDVD+R(2層)ディスクを使用する場合、1枚目以外は同じ種類のディスクを用意してください。

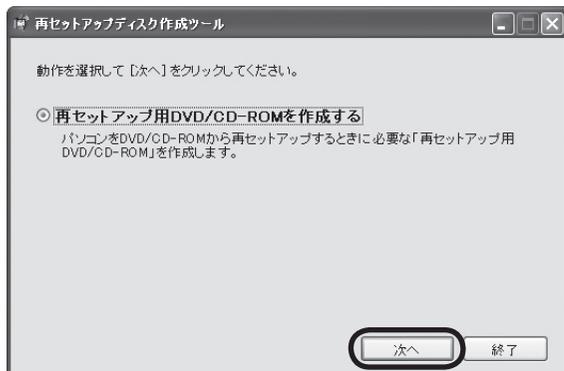
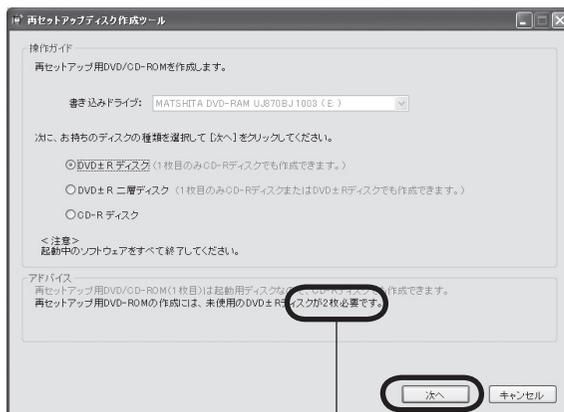
チェック!!
・ 再セットアップ用DVD/CD-ROMは、ご購入時の製品構成以外では、作成できないことがあります。
・ 手動で再セットアップ領域のデータを削除した場合などは、再セットアップ用DVD/CD-ROMを作成できません。

チェック!!
データ書き込みには「Roxio Creator LJ」というソフトが必要です。このパソコンにあらかじめインストールされていますが、削除してしまっているときは、追加しておいてください。ソフトを追加する方法については、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフトの追加と削除」をご覧ください。

・ 次のディスクは使用できません。
CD-RW、DVD-RW、DVD+RW、DVD-RAM

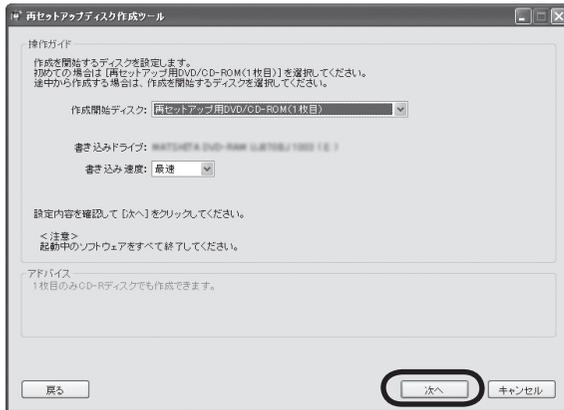
作成の手順

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アプリケーション」-「再セットアップディスク作成ツール」をクリック

2 次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

3 次の画面が表示されたら、ディスクの種類を選び、必要なディスクの枚数を確認して、「次へ」をクリック

ディスクの種類を選ぶと、必要な枚数がここに表示される

チェック!!
ほかのソフトが起動していると、ディスクへの書き込み中にエラーが発生することがあります。起動中のソフトや常駐プログラム(ウイルス対策ソフトなど)はすべて終了してください。また、スクリーンセーバーが起動しないように設定してください。

チェック!!
・ DVD-R/+Rディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-Rディスクで作成できます。
・ DVD+R(2層)ディスクを選んだ場合でも、1枚目はCD-RディスクまたはDVD-R/+Rディスクで作成できます。

4　次の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

一部のディスクの書き込みに失敗した場合などは、この画面で、作成開始ディスク: の をクリックすると、途中から作成するように指定することもできます。

5　用意したディスクをセットする

アクセスランプが消えるまで待ってください。

6　「作成開始」をクリック

1枚目のディスクへの書き込みが始まります。書き込みにはしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。
書き込みが完了すると、自動的にディスクが排出され、1枚目のディスクが作成されたことを知らせるメッセージが表示されます。

7　「OK」をクリック

8　ディスクを取り出し、ディスクの種類と何枚目のディスクかわかるようにラベル面に記入する

続けて、次のディスクをセットしてください。最後のディスクへの書き込みが終わるまで、同じ操作を繰り返します。

作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMは、紛失･破損しないように大切に保管してください。

チェック!!

- 「書き込み速度」は、通常は「最速」を選んでください。
- 書き込みに失敗した場合は、「書き込み速度」を「中速」または「低速」にして、再度作成してください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使ってできることを説明します。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップするには、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。

●こんなことができます

- Cドライブのみの再セットアップ
  「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.54)と同じ内容の再セットアップです。
- Cドライブの領域を変更して再セットアップ
  「Cドライブの領域を変更して再セットアップする」(p.60)と同じ内容の再セットアップです。
- パソコンを購入時の状態に戻す
  詳しくは「SSDをご購入時の状態に戻して再セットアップする」(p.66)をご覧ください。
- パソコン内のデータを消去
  詳しくは「パソコン内のデータを消去する」(p.67)をご覧ください。

●こんなかたにおすすめ

- パソコンやドライブの知識を十分にお持ちのかた
- パソコンを購入時の状態に戻したいかた
- Cドライブの領域を最大(16GB)にして使用したいかた

チェック!!

- このパソコンには、SSDに格納されている再セットアップ領域のデータ(NEC Recovery System)があります。
  NEC Recovery SystemがSSD内にある場合、SSDからパソコンの再セットアップがおこなえます。
- 再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った場合、NEC Recovery Systemは次のように変更されます。
  Cドライブのみ再セットアップした場合:再セットアップ前にNEC Recovery SystemがSSD内にある場合は、NEC Recovery Systemは残ります。
  Cドライブの領域を変更して再セットアップした場合:NEC Recovery Systemは削除されます。
  パソコンを購入時の状態に戻した場合:NEC Recovery Systemは再作成されます(再セットアップ前にNEC Recovery Systemがない状態でも、再作成されます)。
  パソコン内のデータを消去した場合:NEC Recovery Systemは削除されます。
- NEC Recovery SystemがSSD内にない場合、再セットアップをするには、再セットアップ用DVD/CD-ROMを使う必要があります。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順

次の手順を始める前に必ずACアダプタを接続しておいてください。バッテリだけでは再セットアップできません。

1 作成した再セットアップ用DVD/CD-ROMを用意する

2 このPARTの「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.54)をご覧になり、「1. 必要なものを準備する」から「6. 別売の周辺機器(プリンタ、スキャナなど)を取り外す」までの作業をおこなう

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。やむをえず中断したときは、最初から操作をやりなおしてください。

3 パソコン本体に外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)を取り付ける

4 パソコンの電源スイッチを押し、電源を入れる

5 電源ランプが点灯したら、すぐに再セットアップ用DVD/CD-ROM(1枚目)をセットする

6 「再セットアップツール」の画面が表示されたら、「開始」をクリック

ディスクを交換するように指示が表示されたら、指示にしたがって再セットアップ用DVD/CD-ROMを順番にセットしてください。

7 「再セットアップとは」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

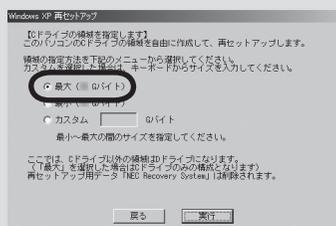
8 「準備するもの」の画面が表示されたら、必要なものがそろっているか確認し、「次へ」をクリック

9 「再セットアップを始める前に」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック

10 「再セットアップの種類を選択する」の画面が表示されたら、再セットアップの種類を選び、「次へ」をクリック

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネット接続の再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.57)以降の説明を参考にしてください。

Cドライブの領域を最大にするには

手順10で「Cドライブの領域を自由に作成して再セットアップ」を選び、領域の設定画面で「最大」を選んで再セットアップすると、Cドライブの領域を最大にすることができます。

チェック!!

手順6で「再セットアップツール」の画面が表示されず、通常のWindowsデスクトップが表示されてしまったときは、再セットアップ用DVD/CD-ROMをセットしたまま、パソコンを再起動してください。

チェック!!

・再セットアップが始まったら、画面に指示が表示されるまで、キーボードやパソコン本体の電源スイッチに触れないでください。
・SSDのフォーマットまたは再セットアップがおこなわれている間は、画面に指示が表示されないかぎり、ディスクを取り出したり、電源スイッチに触れたりしないでください。

チェック!!

再セットアップ用DVD/CD-ROMを使用してCドライブの領域を最大にした場合、ご購入時にNEC Recovery Systemに入っていた再セットアップ用データが失われます。そのため、以降、再セットアップをする場合は再セットアップ用DVD/CD-ROMが必要になります。

SSDをご購入時の状態に戻して再セットアップする

このパソコンのSSDをご購入時の状態に戻します。

初心者のかたや、ドライブの知識があまりないかたは、「再セットアップする(Cドライブのみ)」(p.54)をご覧になり再セットアップをおこなうことを強くおすすめします。

Cドライブをご購入時の状態に戻します。
SSDに保存されていたデータはすべて失われます。

●こんなことができます

・SSDをすべてご購入時の状態に戻す

●こんなかたにおすすめ

・Cドライブの領域を変更して再セットアップした後で、元の状態に戻したいかた

再セットアップ手順

1 **このPARTの「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順」(p.64)の手順1 ～ 9までの操作をおこなう**

2 **「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」をクリック**

3 **「次へ」をクリック**

4 **「ハードディスクを購入時の状態に戻して再セットアップ」の画面が表示されたら、「実行」をクリック**

以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

再セットアップ終了後の、Windowsの設定、周辺機器の再設定、インターネットの再設定などについては、「8.Windowsの設定をする」(p.57)以降の説明を参考にしてください。

再セットアップ中に、再セットアップ用DVD/CD-ROMの入れ替えや再起動などの指示が画面に表示されます。内容をよく確認して作業を進めてください。

再セットアップ用DVD/CD-ROMを取り出して再起動した後、「Microsoft Windowsへようこそ」の画面が表示されたら、「8.Windowsの設定をする」(p.57)へ進んでください。

チェック!!

・この方法で再セットアップをおこなうと、Cドライブのデータが失われます。操作を始める前に、DVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

チェック!!

再セットアップを始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

パソコン内のデータを消去する

このパソコンのSSDにあるデータを復元されにくい形で消去します。

このパソコンのSSDのデータ消去をおこないます。SSDに一度記録されたデータは、「ごみ箱」から削除したり、フォーマットしても復元できる場合があります。このメニューを選択すると、Windows XP標準のSSDのフォーマット機能では消去できないSSD上のデータを消去し、復元ツールで復元されにくくします。このパソコンを譲渡や廃棄するときにご利用ください。
なお、SSDのデータ消去方式は次の3つの方式があります。
・かんたんモード(1回消去)
SSD全体を「00」のデータで1 回上書きします。復元ソフトによるデータの復元ができなくなります。
・しっかりモード(3回消去)
米国国防総省NSA準拠方式により、SSDのデータ消去をおこないます。ランダムデータ1、ランダムデータ2、「00」のデータの順に3回書き込みをおこないます。3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。
ただし、3回書き込みをおこなうため、かんたんモードの3倍の時間がかかります。
・しっかりモードプラス(3回消去+検証)
米国国防総省DoD規格準拠方式により、SSDのデータ消去をおこないます。
「00」、「FF」、「ランダムデータ」の順に3回書き込みをおこない、最後に正常にランダムデータが書き込まれているかを検証します。
3回消去をおこなうことにより、より完全に消去できます。ただし、3回の書き込みと検証をおこなうため、かんたんモードの4倍以上の時間がかかります。

この方法でのSSDのデータ消去は、データの復元が完全にできなくなることを保証するものではありません。

チェック!!
・この操作をおこなうと、Cドライブのデータが失われます。操作を始める前に、必要に応じてDVD-RやCD-R、外付けのハードディスクドライブなどに大切なデータのバックアップを取ってください。
・DVD-RやCD-Rにバックアップを取るときは、別売の外付けDVD/CDドライブ(PC-AC-DU004C)が必要です。また、外付けのハードディスクドライブにバックアップを取るときは、別途、市販の外付けハードディスクドライブをご用意ください。

SSDのデータ消去手順

1. このPARTの「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使った再セットアップ手順」(p.64)の手順1 ～ 9までの操作をおこなう
2. 「ハードディスクのデータ消去」をクリック
3. 「次へ」をクリック
4. 「ハードディスクのデータ消去」の画面が表示されたら、「次へ」をクリック
5. 画面の説明を読んで、問題がなければ「実行」をクリック
以降の操作は、画面の表示内容をよく読みながら進めてください。

チェック!!
SSDのデータ消去を始めたら、途中でやめたりせず、手順どおり最後までおこなってください。

PART

4

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていてトラブルが起きたときは、このPARTで説明しているQ&A事例の中からあてはまる項目を探してみてください。
パソコンが使える場合は、電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」もあわせてご覧ください。

トラブル解決への道

トラブル解決の秘訣は、冷静になることです。何が起こったのか、原因は何か、落ち着いて考えてみましょう。
パソコンから煙が出たり、異臭や異常な音がしたり、手で触れないほど熱かったり、その他パソコンやディスプレイ、ケーブル類に目に見える異常が生じた場合は、すぐに電源を切り、電源コードやACアダプタをコンセントから抜いて、NECにご相談ください。

1 まずは、状況を把握する

◇しばらく様子を見る

あわてて電源を切ろうとしたり、キーボードのキーを押したりせず、しばらくそのまま待ってみましょう。パソコンの処理に時間がかかっているだけかもしれないからです。
パソコンのディスプレイに何かメッセージが表示されているときは、そのメッセージを紙に書き留めておきましょう。原因を調べるときや、ほかの人やサポート窓口などへの質問の際に役立つ場合があります。

◇原因を考えてみる

トラブルが発生する直前にどのような操作をしたか、操作を間違えたりしなかったか、考えてみましょう。電源を入れ忘れていた、ケーブルが抜けていた、必要な設定をし忘れていたなど、意外に単純な原因である場合も多いのです。

◇操作をキャンセルしてみる

たとえばソフトを使っていて障害が起きたとき、「元に戻す」「取り消し」「キャンセル」などの機能があったら、それを使ってみてください。

◇Windowsをいったん終了してみる

いったんWindowsを終了して、もう一度電源を入れなおしただけで問題が解決する場合があります。

2 当てはまるトラブル事例がないか、マニュアルで探してみる

◇このPART「トラブル解決 Q&A」

◇このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」の「解決する」

◇使用中のソフトや周辺機器のマニュアル

◇Windowsの「ヘルプとサポート」

3 インターネットでトラブル事例を探してみる

◇NECのパーソナル商品総合情報サイト「121ware.com」

http://121ware.com/support/をご覧ください。

◇マイクロソフトサポート技術情報

Windowsに関するトラブル情報が検索できます。
http://support.microsoft.com/default.aspx?LN=JAをご覧ください。

◇ソフトや周辺機器の開発元のホームページ

お使いのソフトや周辺機器のメーカーのホームページでも、Q&A情報が提供されている場合があります。

それでも駄目なら、サポート窓口に電話する

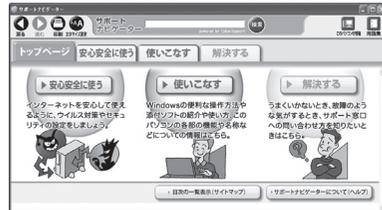
どうしても解決できないときは、サポート窓口に問い合わせてみましょう。トラブルの原因がソフトや周辺機器にあるようならば、それぞれの開発元に問い合わせます。NECのサポート窓口「121コンタクトセンター」については、添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

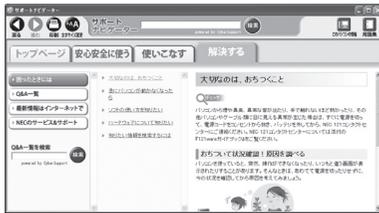
「サポートナビゲーター」でトラブル解決

パソコンのトラブルを解決するのに役立つのは、このマニュアルだけではありません。このパソコンに入っている電子マニュアル「サポートナビゲーター」を活用してください。

「サポートナビゲーター」の使い方

●起動方法

「スタート」-「サポートナビゲーター(電子マニュアル)」をクリック

次に「サポートナビゲーター」の「解決する」をクリック

●使い方

画面左の「困ったときには」を選択し、起きているトラブルをクリック。画面を見ながら解決方法を確認していきます。

このパソコンの機能や機器の増設情報も

「サポートナビゲーター」は、トラブル解決だけでなく、このパソコンのソフトや機能についての情報も数多く掲載しています。
特に「使いこなす」-「パソコン各部の説明」では、省電力機能/表示機能/サウンド機能などの機能や、各種コネクタ類の説明など機器増設の際に必要な情報を紹介しています。

パソコンの様子がおかしい

パソコンが異常に熱を持ったとき、変なにおいがしたときなど、様子がおかしいと思ったらここをご覧ください。いきなり電源コードを抜いたりせず、落ち着いて対処しましょう。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手で触れないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、バッテリを外して、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。
電源が切れないときは、パソコン本体の電源スイッチを4秒以上押し続けてください。

☹ ➡ ☺ ピーッというエラー音がした

もしフロッピーディスクドライブを接続している場合は、フロッピーディスクを取り出してからWindowsを起動してください。セットされているフロッピーディスクの種類によっては、ピーッというエラー音がすることがあります。
または、SSDの障害の可能性があります。メッセージや症状を書き留め、NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。

ファンの音が大きい

パソコンの内部には、パソコンの温度が上がりすぎないようにするファン(換気装置)があります。
ファンは内部温度を検知して回り、パソコン内部の温度を下げます。パソコンの起動時や多くの処理を同時におこなっているときには、内部温度が上がるためファンの音が大きくなることがありますが、故障ではありません。
あまりにも異常な音がするときは、NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

急に動かなくなった、フリーズした

ソフトや周辺機器に異常が発生すると、どんな操作をしてもパソコンやソフトが反応しなくなることがあります(この状態をフリーズ、またはストール、ハングアップといいます)。このような場合は、次の操作をおこなってください。

異常が起きているソフトを終了させる

ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

1 【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Del】を押す

「Windows タスクマネージャ」の画面が表示される

2 「アプリケーションの「タブ」をクリック

3 右側に「応答なし」と表示されているソフト(アプリケーション)をクリックして、「タスクの終了」をクリック

この方法でソフトが終了できなかったり、終了できても、正しい電源の切り方で電源が切れないときは、次の操作をおこなってください。

強制的に電源を切る

1 パソコン本体の電源スイッチを、電源が切れて電源ランプが消えるまで押し続ける

通常、4秒以上押し続けるとパソコンの電源が切れます。

2 5秒以上待ってから、電源スイッチを押す

パソコンの電源が入り、場合によっては、「ディスクのチェック」が自動的に始まり、SSDがチェックされます。

「ディスクのチェック」で異常が発見されなかったときや、「ディスクのチェック」が実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

3 「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。

チェック!!

動作が止まっているように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。あわてる前に、画面の表示状態やSSDアクセスランプが点灯していないかなどをよく確認しましょう。

メモ

画面が突然真っ暗になったときには、パソコンが省電力状態になったことが考えられます。省電力状態から復帰するには、電源スイッチを押します。詳しくは「ディスプレイに何も表示されない」(p.79)をご覧ください。

チェック!!

- 「Windows タスクマネージャ」の画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。
- ソフトで編集していた文書、画像などのデータは保存できません。

チェック!!

- 頻繁に強制終了をおこなうとSSDが故障することがあります。
- 強制終了をおこなうと直後の再起動時に「ディスクのチェック」が自動的に起動することがあります。

チェック!!

- 「ディスクのチェック」の結果、何かメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、「PART3 再セットアップ」(p.49)をご覧になり、システムの修復または再セットアップをおこなってください。

4「電源を切る」をクリック

パソコンの電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、もう1度4秒以上パソコンの電源スイッチを押し続けてください。

それでも症状が改善しない場合は、NEC121コンタクトセンターにご相談ください。NEC121コンタクトセンターについては添付の『121wareガイドブック』をご覧ください。

キーボード、NXパッド

キーボードやNXパッドが正しく動作しなかったり、反応しないときはここをご覧ください。

キーボードのキーを押しても、NXパッドに触れても反応しない、反応が悪い

マウスポインタが⌛の形に変わっていませんか?

マウスポインタ⌛の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、キーボードやNXパッドの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待っていてください。

しばらく待ってもキーボードやNXパッドの操作ができないとき

ソフトや周辺機器に異常が発生して動かなくなった(フリーズした)ものと考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.73)をご覧になり、異常が起きているソフトを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは失われます。

チェック!!

動作が止まったように見えても、実はパソコンが処理するのに時間がかかっているだけということがあります。画面表示やSSDアクセスランプが点灯していないかをよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

NXパッドが反応しない、または反応が鈍い

☹➡☺ 指先やNXパッドが汚れていませんか？

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れをふき取ってから操作してください。

☹➡☺ NXパッドの二か所以上に同時に触れていませんか？

NXパッドの二か所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。一か所だけに触れるようにしてください。

☹➡☺ NXパッドの感度の設定が低くなっていませんか？

NXパッドは、誤動作を防止するため、感度を調整することができます。ただし、この感度が低すぎると、NXパッドの反応が鈍くなります。
次の手順で設定を変更してください。

1 **「スタート」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「マウス」をクリック**
「マウスのプロパティ」が表示されます。

2 **「デバイス設定」タブの「設定」をクリック**
デバイスの設定画面が表示されます。

3 **「アイテムの選択」で「感度」をダブルクリック**
「感度」に含まれる項目が表示されます。

4 **「PalmCheck(パームチェック)」または「タッチ感度」をクリックし、設定を変更する**
設定内容については、画面の説明をご覧ください。

5 **「OK」をクリック**
「マウスのプロパティ」に戻ります。

6 **「OK」をクリック**

これで、NXパッドの感度の設定が変更されました。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

そのまま使い続けると、キーボードの故障の原因になることがあります。NEC121 コンタクトセンターにお問い合わせください。

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいにふき取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因になります。

参照

・ キーボードのお手入れ→「セットアップマニュアル」の「パソコンのお手入れ」
・ NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

電源のトラブル

電源を入れたとき、電源を切ろうとしたときにトラブルが発生したときは、こちらをご覧ください。

電源スイッチを押しても電源が入らない

まれに、パソコン本体に電荷が帯電し、電源スイッチを押しても電源が入らない状態になることがあります。次の操作をおこない、放電してみてください。

1 電源コードをコンセントから抜き、バッテリを外す
バッテリの外し方については、『セットアップマニュアル』をご覧ください。

2 そのまましばらく放置した後、バッテリを取り付け、電源コードを正しく接続しなおす

3 パソコン本体の電源スイッチを押して、電源を入れる

この操作をおこなってもパソコンの電源が入らない場合は、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

チェック!!
放電を確実におこなうため、電源コードはしばらくコンセントから抜いたままにしておいてください。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

正しい電源の切り方

1 デスクトップの「スタート」をクリックし、「終了オプション」をクリック

2 「電源を切る」をクリック
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、ソフトに異常が起きていると考えられます。「急に動かなくなった、フリーズした」(p.73)をご覧になり、異常が起きているソフトを終了してください。それでも電源が切れないときは、「強制的に電源を切る」(p.73)の操作をおこなってください。

ディスプレイに何も表示されない

パソコンの電源を入れたときにディスプレイに何も表示されないときや、パソコンを使っていて画面が真っ暗になったときは、パソコン本体の電源ランプの状態を確認してください。

パソコン本体の電源ランプが消えているとき。または、点滅しているとき

☹➡☺ パソコン本体の電源スイッチを押してください。

画面が表示されるときは、電源が切れていたか、パソコン本体の省電力機能が働いて省電力状態になっていたものと考えられます。
このパソコンは、ご購入時には一定の時間何も操作しないと自動的に省電力状態になるように設定されています。

☹➡☺ パソコン本体の電源コードなどは正しく接続されていますか？

一度、電源コードをコンセントから抜き、『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度パソコンの各ケーブルを接続しなおしてください。
電源コードなどすべてのケーブルを正しく接続しなおして、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、パソコン本体の故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターにお問い合わせください。

☹➡☺ バッテリパックは正しく取り付けられていますか？

『セットアップマニュアル』をご覧になり、もう一度バッテリパックの取り付け状態を確認してください。

☹➡☺ バッテリは十分充電されていますか？

電源コードを接続していない状態でバッテリ容量が不足していると、パソコンの電源は入りません。電源コードを接続して使うか、バッテリを充電してから使ってください。電源コードを接続してから電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、パソコンの故障が考えられます。NEC 121コンタクトセンターへお問い合わせください。

チェック!!
電源が入っているとき(省電力状態のときも含む)に、4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。強制的に電源を切るともとの状態に復帰できなくなります。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

パソコン本体の電源ランプが青色に点灯しているとき

キーボードのキー（【Shift】など）を押すか、NXパッドに触れてみてください。

画面が表示されるときは、ディスプレイの省電力機能が働いていたものと考えられます。

休止状態の間に、コンピュータの設定を変更したり周辺機器などの接続を変更しませんでしたか？

休止状態のときに周辺機器を接続したり、接続されていた周辺機器を取り外したりすると、Windowsが起動しなくなることがあります。その場合は、周辺機器の接続をもとの状態に戻して電源スイッチを押してください。

ディスプレイの輝度(明るさ)が小さくなっていませんか？

「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧になり、画面の輝度を調節してください。

外部ディスプレイを接続していませんか？

外部ディスプレイを接続し、画面の出力先を外部ディスプレイに設定しているときは、パソコンの液晶ディスプレイには画面が表示されません。
画面を表示させるには、キーボードの【Fn】+【F3】を押すか、画面のプロパティの設定で画面の出力先を変更してください。画面のプロパティの設定手順について、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「表示機能」をご覧ください。(出力先を画面のプロパティで変更すると、変更後の画面に設定の確認メッセージが表示されます。そのまま何も操作しないと画面の出力先は変更前の状態に戻ります。いったんパソコンの電源を切り、接続している外部ディスプレイを外してから起動すると、画面の出力先は自動的にパソコンの液晶ディスプレイに変更されます)
また、接続している外部ディスプレイとの接続や電源が入っていることも、あわせて確認してください。

「Windows 拡張 オプション メニュー」が表示された

「セーフ モード」を選んで、【Enter】を押し、Windowsをセーフモードで起動します。
セーフモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。
「スタート」メニューの「終了オプション」から「再起動」をクリックし、再起動して問題がなければ、もとの状態に戻ります。
セーフモードで起動できなかった場合や、再起動しても問題が解決しなかった場合は、システムに障害が発生している可能性があります。PART3「再セットアップ」(p.49)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの電源を入れると、NECロゴが表示された後、画面がまっくらになる

電源を入れると、「NEC」ロゴが表示された後、画面がまっくらになるときは、「セーフモードでパソコンを起動してみる」(p.51)をご覧になり、パソコンを「セーフモード」で起動してみてください。

「オペレーティングシステムの選択」が表示された

「Microsoft Windows XP Home Edition」を選んで、【Enter】を押してください。Windowsが起動します。

画面に英語のエラーメッセージが表示される

「Checking file system on」と表示された場合

パソコンの電源を切る際に、Windowsは作業中のファイルをディスクに保存しなおすなどのいくつかの処理をおこないます。その処理が正しくおこなわれなかった場合に、このメッセージが表示されます。
このメッセージが表示された後しばらくすると、自動的に、SSDに異常が発生していないかどうかチェックする処理が始まります。SSDに異常がなければそのままWindowsが起動します。以降は問題なくお使いいただけます。
Windowsが正常に起動しなかった場合は、画面にメッセージが表示されますので、その内容をよく読んで対処してください。

「Invalid system disk」、「Operating System not found」などのメッセージが表示された場合

外付けのフロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブなどに、フロッピーディスクやCD-ROMなどのディスクがセットされていませんか？

フロッピーディスクやCD-ROMなどを取り出してから、何かキー（【Enter】など）を押してください。SSDからWindowsが起動します。
フロッピーディスクやCD-ROMなどがセットされていないのにこれらのメッセージが表示される場合は、SSDがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態になっています。PART3「再セットアップ」(p.49)をご覧になり、システムの復元または再セットアップをおこなってください。

パソコンの使用環境を変更したら、Windowsが起動しない

BIOSセットアップユーティリティで、パソコンの使用環境を変更した後に、Windowsが起動しなくなったときは、システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

1 別売の周辺機器や拡張ボードを取り付けているときは、取り外して、ご購入時の状態に戻す

2 パソコン本体の電源を入れ、「NEC」のロゴマークが表示されたら【F2】を押す

BIOSセットアップユーティリティの画面が表示されます。

3 キーボードの【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

4 表示された画面で「はい」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が初期値に戻ります。

5 【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 表示された画面で「はい」を選んで【Enter】を押す

システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

チェック!!

「BIOSセットアップユーティリティ」で設定したパスワードは、左の操作をおこなっても初期値には戻りません。

参照

BIOSセットアップユーティリティについて→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「BIOSセットアップユーティリティ」

チェック!!

- 手順2で【F2】を押してもBIOSセットアップユーティリティの画面が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何度か【F2】を押してください。
- ディスプレイの特性により手順2で「NEC」のロゴ画面が表示されず【F2】を押せなかったときは、本体の電源を入れた直後、本体前面のNum Lockランプが点灯するタイミングで、【F2】を何度か押してください。

省電力機能

省電力状態（休止状態 / スタンバイ）からもとの状態に戻れなくなったときや、省電力機能が使えないときは、ここをご覧ください。

省電力状態になる前の状態の画面が表示されない

省電力状態からもとの状態に戻すときは、パソコン本体の電源スイッチを押します。パソコン本体の電源スイッチを押してももとに戻らない場合は、次の点を確認してください。

ソフトや周辺機器は省電力機能（休止状態/スタンバイ）に対応していますか？

対応していないソフトや周辺機器で省電力状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなソフトや周辺機器を使うときは、省電力状態にしないでください。

コマンドプロンプトがアクティブのときにスタンバイ状態から復帰させたが画面が表示されない

【Alt】＋【Tab】を押してタスクを切り換えると、正常に動作するようになります。

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持（記録）した内容は消えてしまう場合があります。

パソコンがWindowsの終了処理をおこなっている途中で、次の操作をしませんでしたか？

・ 液晶ディスプレイを閉じた
・ 省電力状態にした
・ 電源を切った

このような操作をすると、正常に復帰できなくなることがあります。電源スイッチで電源を入れた後に何かメッセージが表示された場合は、そのメッセージにしたがって操作してください。

バッテリの残量が少なくなっていませんか？

ACアダプタを接続してから、液晶ディスプレイを開いた状態でパソコンの電源を入れると、復帰します。

参照

省電力機能について→「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「省電力機能」

省電力状態にする前の内容の復元が保証されない場合

次のような場合は、省電力状態にする前の内容は保証されません。

- 省電力状態にする前の内容の記録中、または復元中にこのパソコンの環境を変更したとき
- 省電力状態のときにこのパソコンの周辺機器の接続などを変更したとき

また、次のような状態で省電力状態にしても、復帰後の内容は保証されません。

- プリンタで印刷しているとき
- サウンド機能により音声を再生しているとき
- データを読み書き中のとき
- 省電力状態に対応していない周辺機器を取り付けたとき

チェック!!

省電力状態からの復帰(再開)に失敗したときは、Windowsが起動しても省電力状態にする前の作業内容が復元されない場合があります。その場合、保存していないデータは失われてしまいますので、省電力状態にする前に必要なデータは必ず保存するようにしてください。

パスワード

Windows を起動したときにパスワードを入力してもログオンできない場合や、パスワードを忘れてしまった場合は、ここをご覧ください。

パスワードを入力すると「パスワードをお確かめください。」と表示される

🅰(キャップスロックキーランプ)や①(ニューメリックロックキーランプ)の設定が違っていませんか?

キャップスロックキーランプやニューメリックロックキーランプの状態がパスワード設定時と異なっていると、パスワードが正しく入力できない場合があります。ランプの状態を確認して、パスワードを設定したときと同じ状態にしてからパスワードを入力しなおしてください。

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

「ようこそ」画面のパスワード入力欄の右の?をクリックしてください。もし、そのユーザーのパスワードを設定したときに「ヒント」を設定していれば、その「ヒント」が表示されます。これを手がかりにパスワードを思い出してください。

どうしてもパスワードを思い出せない場合は、パスワードを設定しなおす必要があります。「マルチユーザー機能」でこのパソコンにほかのユーザー名を登録してあれば、そのユーザー名でログオンして、「コントロールパネル」の「ユーザー アカウント」で、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを設定しなおしてください。
くわしくは、「スタート」-「ヘルプとサポート」をご覧ください。

チェック!!

- ほかのユーザー名でログオンしてパスワードを設定しなおすと、そのユーザー向けに保存されていた個人証明書や、Webサイトまたはネットワークリソース用のパスワードもすべて失われます。
- 「制限ユーザー」として登録されたユーザー名でログオンした場合、左のパスワードの設定操作はできません。

ユーザパスワード、スーパバイザパスワードを忘れてしまったとき

BIOSセットアップメニューで設定したこれらのパスワードを忘れてしまった場合は、BIOSセットアップメニューを起動できません。NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

参照

NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

SSDのパスワードを忘れてしまったとき

NEC 121コンタクトセンターでは、パスワードを解除できません。もし、SSDのパスワードを忘れてしまった場合、お客様ご自身で作成されたデータは二度と使用できなくなり、またSSDを有償で交換することになります。SSDのパスワードは忘れないよう、十分注意してください。

その他

ここまでで、あなたのパソコンのトラブルが見つからなかったときは、ここをご覧ください。ここでも見つからないときは、「サポートナビゲーター」やほかのマニュアル、ヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

ウイルスに感染したらしい

コンピュータウイルスに感染した場合は、すぐにインターネット接続のために使っているLANケーブルなどをパソコンから取り外し、ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」を使って、ウイルスを駆除し、被害を届け出ましょう。
届出は義務付けられてはいませんが、被害対策のための貴重な情報になります。積極的に報告してください。

●届出先
　独立行政法人 情報処理推進機構(IPA)
　IPAセキュリティセンター
　FAX:03-5978-7518
　E-mail:virus@ipa.go.jp
　URL:http://www.ipa.go.jp/security/
　IPAではウイルスに関する相談を下記の電話でも対応しています。
　(IPA)コンピュータウイルス110番
　TEL:03-5978-7509

参照
「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ウイルス感染の防止」

パソコンを落とした

外観上、特に問題なさそうなら、とりあえず電源を入れてみてください。正常に動作するようならば、ひと安心です。万一、電源を入れたときに変な音がしたり、動かなかったりしたら、すぐ電源コードをコンセントから抜いて、NEC 121コンタクトセンターにご相談ください。

参照
NEC 121コンタクトセンターのお問い合わせ先→『121wareガイドブック』

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される

Cドライブの空き領域を増やすよう画面にメッセージが頻繁に表示される場合は、不要なデータを削除してCドライブの空き領域を増やしてください。
不要データを削除する方法のほかに、再セットアップのための領域を利用してCドライブの空き領域を増やす方法があります。詳しくはPART3の「再セットアップ用DVD/CD-ROMを使って再セットアップする」(p.64)をご覧ください。

付　録

バッテリリフレッシュについて

バッテリの機能を回復するバッテリリフレッシュについて説明します。
バッテリについて詳しくは、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「パソコンの機能」-「バッテリ」をご覧ください。

バッテリは、使い続けていくうちに、フル充電してもバッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が以前よりも短くなっていきます。このようなときは、バッテリリフレッシュをおこなうことでバッテリの性能を回復できます。

バッテリリフレッシュをおこなうのは、次のようなときです。

- バッテリの電源のみでパソコンを使用できる時間が、以前よりも短くなったとき
- ご購入直後や長期間放置した後で、バッテリの性能が一時的に低下しているとき
- バッテリの残量表示に誤差が生じているとき

チェック!!
バッテリリフレッシュは数時間かかります。時間に余裕のあるときにおこなってください。

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使う

バッテリ・リフレッシュ＆診断ツールを使って、バッテリ性能の低下を抑えるためのリフレッシュと現状の性能診断をおこなうことができます。

1 **「スタート」-「すべてのプログラム」-「バッテリ・リフレッシュ ＆診断ツール」-「バッテリ・リフレッシュ＆診断ツール」をクリック**

2 **「今すぐ開始」をクリック**

3 **「はい」をクリック**

バッテリのリフレッシュおよび診断が開始されます。中止するには「中止」をクリックしてください。

4 **診断結果を確認する**

「バッテリ状態」が「劣化」、「注意」と表示されたときにはバッテリを交換してください。

チェック!!
初回起動時は「バッテリ・リフレッシュ ＆診断ツール」についての説明の画面が表示されます。バッテリのリフレッシュおよび診断を開始する前に注意事項を確認してください。

チェック!!
バッテリリフレッシュおよび診断中にはACアダプタ、およびバッテリパックを取り外さないでください。

バッテリリフレッシュをおこなう

1 パソコンの電源を切る

2 バッテリリフレッシュをおこないたいバッテリパックをパソコンに取り付ける

取り付けられているバッテリをバッテリリフレッシュする場合は、そのまま手順3に進みます。バッテリの取り付け方については『セットアップマニュアル』をご覧ください。

3 パソコンにACアダプタを接続し、電源コードをコンセントに差し込む

バッテリ充電ランプ( )が点滅している場合は、一度ACアダプタを取り外し、バッテリパックを取り付けなおしてください。

4 バッテリをフル充電する

バッテリがフル充電されると、バッテリ充電ランプが消灯します。

5 パソコンの電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を数回押す

BIOSセットアップユーティリティのメイン画面が表示されます。

6 電源コードのプラグをコンセントから抜き、ACアダプタをパソコンから取り外す

7 【→】を押して「終了」を選び、【↓】を押して「バッテリリフレッシュ」を選んでから【Enter】を押す

バッテリリフレッシュが始まります。

バッテリリフレッシュが完了すると、自動的にパソコンの電源が切れます。
電源が切れたら、ACアダプタと電源コードを接続してバッテリをフル充電してください。

チェック!!
BIOSセットアップユーティリティが表示されないときは、電源を入れなおして、【F2】を押す間隔を変えてください。

チェック!!
バッテリリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。また、バッテリリフレッシュ中はACアダプタを接続しないでください。

バッテリリフレッシュを中断する

●電源スイッチから中断する

バッテリリフレッシュ中に電源スイッチを押すと、バッテリリフレッシュが中止されて、パソコンの電源が切れます。

チェック!!
バッテリリフレッシュ中に、【Esc】を押したり、ACアダプタを接続したりすると、バッテリリフレッシュの中断を確認するメッセージが表示されます。このとき、ACアダプタを接続している場合はACアダプタを取り外した後、【↑】または【↓】を押して「Continue Battery Refresh」を選んで【Enter】を押してください。バッテリリフレッシュが続行されます。

索引

初版 **2009年6月**
NEC
853-810601-829-A

LaVie Light
ユーザーズマニュアル

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）